

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
分担研究報告書

予防・健康づくりのための住宅環境整備のための研究
予防・健康づくりのための住民の意識・関心に関する動向

研究分担者 阪東 美智子 国立保健医療科学院 生活環境研究部 首席主任研究官

研究要旨

本研究では、住民の健康に対する意識の向上を図るための適切な介入方法を検討するための基礎資料として、住民の健康に対する意識・関心の現状を把握すること、及び、メディアや企業・団体等が提供している居住リテラシー情報の内容を整理することを目的として、次の3つの調査を実施した。一つ目は居住リテラシーに関する文献レビューである。二つ目に企業・団体等が提供している「住教育」に関する情報や健康に関する調査報告書を収集・整理した。三つ目にネットリサーチ会社のアンケートデータベースの二次分析を行い属性別にその特徴を整理した。

アンケートデータベースの二次分析からは、自宅室内の除菌・消毒を気にする意識が、「女性」「30-40代」「既婚者」「子どもがいる」「短大・高専卒」「持ち家（集合住宅）」「世帯収入が高い」群で高く、また、意識が高い人ほど実際に除菌・消毒を行っていることが明らかになった。

意識と実践の相関が高いことから、まずは意識付けが必要であることや、実践に向けた正しい情報の提供が必要であることが示唆された。

A. 研究目的

住民の健康に対する意識の向上を図るための適切な介入方法を検討するための基礎資料として、住民の属性・世帯構成等別に生活スタイルや健康に対する意識・関心に関する動向を調査・整理し特徴を明らかにすること、また、メディアや企業・団体等が提供している居住リテラシー情報の内容およびその効果を調査し整理することを目的とする。

B. 研究方法

B1. 居住リテラシーに関する文献レビュー

検索データベース（CiNii、JDreamⅢ、医中誌、PubMed）を用い、「リテラシー」×「住宅／居住、健康、公衆衛生」、「病気、予防」×「住宅／住まい」等をキーワードとして、資料を収集・整理する。また、日本建築学会のアーカイブ検索サービスを用い、「健康」に関連する論文を収集・整理する。

B2. メディア・企業による健康情報のレビュー

インターネット検索により、「住教育」に関する情報を提供している団体・機関等のサイトから、住教育に関する資料・情報を収集・整理する。また、企業・団体等が実施した健康に関する調査報告書を収集・整理する。

B3. 健康意識・関心に関する調査の二次分析

ネットリサーチ会社のマイボイスコム（株）が提供するアンケートデータベースから、「除菌・消毒に関する調査」（2020年11月実施、回答者10,225名）のローデータを入手し、属性別に集計を行い特徴を整理する。

C. 研究結果

C1. 居住リテラシーに関する文献レビュー

検索データベース（CiNii、JDreamⅢ、医中誌、PubMed）ごとに、「リテラシー」または「病気、予防」と「住宅／住まい」及び「健康」をキーワ

ードとして掛け合わせ、概ね過去 10 年間に発表された本文・抄録ありの文献を調べた。検索日とキーワード、ヒット件数と、主な文献を一覧にしたものを表 1 に示す。

表 1 のうち、文献 2 は、居住者の温熱環境リテラシーの向上に向けて具体的な手法を試行・検証している。具体的には、温熱感覚を体感できるモデルルームとその体験プログラムを作成して、温熱環境改善効果を体感させたり、ヒートショックリスクの低減効果を図解した教材を作成し、ワークショップを組み込む学習プログラムを提供したりしている。いずれの方法でも体験・学習効果が認められている。ただし、これらの施行の評価は体験・学習直後に実施されたものであり、継続性や行動・実践につながっているかどうかについては検証されていない。また、この研究では、自治体が独自に実施している「予防的住宅改修（住宅のバリアフリー化とヒートショック対策を促進する住宅改修）」に対する補助金の効果についても調査を行っており、新潟市と大分県の事例から、バリアフリー化と温熱環境改善の両方の改修ニーズが見られることや、工事総額の 1/5～1/10 の補助金でも改修工事のインセンティブとなりうることを示している。

文献 5 では、居住者に家庭用デジタル温湿度計を配布し、室内温湿度を意識することによる冷暖房装置の使い方の変化を調査しており、温湿度計に関心を持った居住者が多いことや、約 4 割が夏季に温湿度計を見ることで冷房の設定温度を変えていること、冬季は温湿度計を見ても暖房の設定温度を変えた者はほとんどいないこと、冷暖房の使用時間についてはほとんど変化していないことが報告されている。

一方、文献 19 では、居住者に室内空気質や健康状態に関する測定結果を還元することにより居住者のリテラシーを高め健康改善のための行動を促進できたと報告している。

文献 52 は、室内空気環境モニタリング調査の参加者を対象にした質的研究により、リテラシーの向上が健康改善のための行動に寄与することを示している。同時に、知識を得ても行動・実践

に移るには経済面や情報へのアクセス等の障壁要因も存在することが指摘されている。

文献 68 以降は「事故」をキーワードに含めたところ、「転倒」に係る文献が多数を占めた。転倒予防については、居住者のリテラシーの向上よりもむしろ支援者のアセスメントの視点や支援の方法を扱った研究が多くみられる。

次に、J-STAGE を用い、日本建築学会環境系論文集のうち、「健康」に関する論文を調べた。各論文のキーワードから、「温熱」「湿度/湿気」「換気」「空気質」「光・照明」「環境一般」に分類し整理したものを表 2 に示す。

表 2 に掲載した 73 の文献中、温熱環境に関するものが 46 本、湿度・湿気・ダンプネスに関するものが 10 本、換気に関するものが 2 本、空気質に関するものが 9 本、光・照明に関するものが 3 本であり（キーワードの重複を含む）、温熱環境に関する文献が約 6 割を占めており、関連する健康問題としては血圧または睡眠を取り上げたものがほとんどで、まれに冷え性や要介護度との関係を取り上げたものがある。湿度・湿気を扱った文献では、アトピー性皮膚炎や乾燥感など皮膚疾患との関係に着目している。空気質に関する文献では、シックハウス症候群やアレルギー疾患との関係に着目している。

C2. メディア・企業による健康情報のレビュー

表 3 に、メディア・企業等がホームページなどにおいて電子媒体で提供している住教育に関する情報を整理した。

とくに健康を意識した取り組みを行っているのは、No.9 の LIXIL で、2018 年から小学校高学年を対象にした出前授業「健康と環境によい住まい方」を開始し、ヒートショック予防などを含む「健康」と「環境」の両方を実現できる住まい方について教えている。2019 年からの 5 年間で、延べ 152 回、約 4,300 名の子どもたちが参加している。また、住宅内事故に関する学びのプログラム「安全教育授業プログラム～家の中の安全を考えよう～」も、同じく小学校高学年を対象に実施しており、2014 年からの 9 年間で、延べ 225 名、約 6,800 名の子どもたちが参加している。

自治体の取り組みとしては、No.10の青森県が、2017～18年度の重点施策として、リビングリテラシー向上プログラム推進事業を実施しており、「青森県住まい・住環境学習指針」を施行し、小学生から高校生までを対象に、読本やリーフレットを作成し、住まい・住環境学習を推進している。

No.36の東京都消費生活総合センターのサイトでは、消費者を対象とした住教育のためのDVD教材が紹介されている。高等学校の「家庭基礎」「家庭総合」「生活デザイン」の学習指導要領を踏まえて作成されており、住環境については特に「温熱環境」「空気質」「光環境」について基本的な知識が学べるようになっている。

次に、企業・団体等が実施した健康に関する調査報告書の一覧を表4に示す。それぞれの調査について、「性別年代別の集計結果が示されているかどうか」及び「室内環境（たばこ・受動喫煙を含む）に関する質問項目が含まれているかどうか」という観点から整理を行った。収集した97の報告書のうち、性別年代別の集計結果が一部でも示されているものは80件あった。また、室内環境に関する質問項目が含まれているものは46件で、うち性別年代別の集計結果があるものは37件であった。調査元の多くは自治体であった。室内環境に関する質問項目は、ほとんどがたばこ・受動喫煙に関するものであり、換気や温湿度に関する質問項目を含むものはごく少数であった。

たとえば、No.29「世田谷区民の健康づくりに関する調査報告書」では、「(カビや結露の発生などの選択肢を提示して) 住まいで気になることがあるか」「どのようなときに換気しているか」「室内換気のための換気口(通気口)の有無とその状態」を尋ねている。住まいで気になることについては「特にない」42.2%が最も高く、次いで「カビの発生」17.3%、「結露の発生」16.6%で、性・年代別にみると、「結露の発生」は、女性の50歳代で3割を超えて最も高く、次いで、女性の30歳代で2割台半ばである。住まいの換気口については、「常に開けている」39.6%が最も高く、性・年代別にみると、「常に開けている」は、男性の20歳代、60歳代、女性の40歳代で4割台半ば

で、男性の40歳代、70歳代で4割を超えている。「常に閉めている」は、男性の30歳代で約2割、男性の40歳代、50歳代、女性の20歳代で1割台半ばである。

No.89の博報堂が実施した「生活定点」は、1992年から偶数年5～6月に実施されているパネル調査で、経年的な変化を見ることができる。住に関する質問項目として「住まいのダニ、ホコリ、カビなどが大変気になる」がある。1998年には該当する回答が5割を超えていたが、年々、該当するという回答は減少しており、2022年には38.5%となっている。男女差については、女性の方が約10ポイント高い結果で、年代別では大きな差は見られない。

No.92のタニタの「熱中症に関する意識・実態調査2023」では、「夏の室内環境とエアコン使用」に関する設問がある。この報告書では、「夏にエアコンをつけていてもこまめに換気している」という回答が4割あることや、夏に室温を28℃以下に保つようにしている人の半数が「エアコンをつけるときは設定温度を28℃にしている」と回答していることが示されている。また、前年度の調査結果と比較し、在宅時にエアコンを使用しない人の割合が60代以上女性で、日中で7.2ポイント下降(2022年10.8%、2023年3.6%)、夜間で7.3ポイント下降(2022年13.3%、2023年6.0%)、就寝中で6.0ポイント下降(2022年19.3%、2023年13.3%)していることから、「60代以上女性では、エアコンの適切な使用が熱中症リスクを軽減するということに対し、理解が広がっているのではないかと分析している。

C3. 健康意識・関心に関する調査の二次分析

ネットリサーチ会社のマイボイスコムが実施した「除菌・消毒に関する調査」(2020年11月実施、回答者10,225名)について、対象者の属性別に集計した結果を表1～表11に示す。

自宅室内の除菌・消毒に対する意識について、地域別(表1)では「気にする」の割合が北陸で相対的に低く、関東で相対的に高かった。気にする群(「気にする」+「やや気にする」と気にしない群(「あまり気にしない」+「気にしない」)

の差分を取ると、関東は気にする群が 17.4 ポイント高いが、中国は 0.4 ポイント、中部は 4.4 ポイント、四国は 4.7 ポイントと差が小さかった。性別（表 2）では、女性の方が「気にする」の割合が高く、気にする群は気にしない群よりも 26.7 ポイント高いのに対し、男性は 1.1 ポイントと差が小さかった。

年代別（表 3）では、10 代で気にする群の割合が高かったが、サンプル数の少なさが影響している可能性がある。20 代と 50 代は気にする群としない群の差分が小さかった。

未婚別（表 4）では、既婚者の差分は 17.2 ポイント、未婚・離死別者の差分は 3.5 ポイントで、既婚者の方が気にする群の割合が相対的に高かった。

子どもの数別（表 5）では、子どもなしの差分は 9.2 ポイントであるのに対し、子ども 1 人の差分は 21.3 ポイント、2 人の差分は 15.9 ポイントで、子どものいる群の方が子どもなしに比べて気にする群の割合が高い傾向が見られた。

自宅種類別（表 6）では、持ち家（集合住宅）の差分が 17.2 ポイントで気にする群の割合が高いのに対し、借家（集合住宅）の差分は 9.1 ポイントであった。寮・社宅では気にしない群の割合が気にする群を上回った。

学歴別（表 7）では、大学院卒と中学卒で気にしない群の割合が上回った。短大・高専卒で気にする群としない群の差分が 28.8 ポイントと高かった。

世帯収入別（表 8）では、収入が高いほど、気にする群としない群の差分が大きかった。

次に、直近 1 年間で自宅の室内や物、家具などの除菌や消毒について、行うことが多かった場所を見ると、性別（表 9）では、「直近 1 年間していない」が男性で 25.0%、女性で 12.1%であった。「トイレ」が男女とも最も多く、男性 51.5%、女性 62.5%であった。「手を触れるドアノブなど」は、男性 14.4%、女性 28.4%であった。

年代別（表 10）では、「直近 1 年間していない」が 20 代で多く 27.3%であった。「トイレ」

がどの年代でも最多であったが、年代が高いほど多く、20 代では 39.1%だが 70 代では 65.5%であった。「洗面所」「風呂」も年代が高いほど多いが、「手を触れるドアノブなど」はどの年代も 2 割前後で差が見られなかった。

除菌・消毒に対する意識の違いによる行動を見ると（表 11）、除菌・消毒を気にしていない群ほど「直近 1 年間していない」の回答が多かった。

D. 考察

居住リテラシーに関する文献レビューから、既存研究は、高齢者や低所得者をはじめ、民族や社会階級において健康リテラシーが低いとみられるいわゆる「社会的弱者」を対象としたものが多いこと、そのため、「社会住宅」や「公共住宅」などの居住者であるという点で「住宅／住まい」というキーワードで抽出されていることが多く、健康要因としての「住環境」や「住まい方」に着目した文献は、本研究班のメンバーが著者となっているものを除けばごく少数であることが明らかになった。また、日本建築学会で報告されている研究では、温熱環境に関するものが過半数を占め、そのほとんどが血圧または睡眠との関連を取り上げていることが明らかになった。逆に言えば、温熱環境以外の住環境因子や、血圧・睡眠以外の健康との関連に関する調査研究はまだ途上であると言える。

メディア・企業等による健康情報のレビューでは、まず住教育や居住リテラシーの向上という観点から、先駆的な取り組みを行っている自治体や企業が現れていることがわかった。特に青森県は、「リビングリテラシー向上プログラム推進事業」というユニークな事業を推進している。これは、平成 29 年 3 月に改定した「青森県住生活基本計画」の目標の 1 つである「ライフスタイルに応じた住生活を実現するリビングリテラシーの醸成」を目指すための施策として実施されたものである。住生活基本計画の策定は他の都道府県でも実施されているが、青森県以外の自治体ではこのような取り組みは展開されていない。取り組みの背景

や課題、効果などについては不明であり、今後の研究課題である。

一方、自治体や企業等は、健康に関する調査研究も数多く実施していることがわかった。定期的・定点的な調査を実施しているものもあり、横断調査だけでなく縦断調査として経時的変化を追うことも可能であることがわかった。また、性別・年代別の集計等も行われていることから、属性別の特徴などもある程度は把握できることがわかった。近年は、健康増進法の改正を受けて、各自治体で受動喫煙対策が進んでいることから、たばこや受動喫煙に関する調査研究が増えており、コロナ禍の影響もあって感染症対策に関する調査研究も散見される。しかし、室内環境に関する設問など、住宅との関連を質問項目に含めているところは少なく、住環境と健康との関係を把握するには限界がある。あらためて、住環境と健康との関係について大規模な調査が必要である。

健康意識・関心に関する調査の二次分析からは、自宅室内の除菌・消毒を気にする意識が、属性によって異なることが明らかになった。すなわち、女性、30-40代、既婚者、子どもがいる、短大・高専卒、持ち家（集合住宅）、世帯収入が高い群で高い。また、意識が高いほど実際に除菌・消毒を行っている。除菌・消毒場所については「トイレ」など水回りが多い一方で、「手を触れるドアノブなど」は実施率が2割程度と低い。

意識と実践の相関が高いことから、まずは意識付けが必要である。属性の違いにより意識が異なり、未婚の男性の意識が相対的に低いことから、これらの層に対する啓発が必要である。実践を行っている場合も、必ずしも正しい知識に基づいていない状況が見られることから、提供する情報の内容・質についても検討が必要である。

E. 結論

文献レビューやメディアや企業・団体等が提供している居住リテラシー情報の内容を整理することにより、健康と住宅に関する研究の動向や住民意識・関心の把握を試みた。既存調査・研究からは、健康と住環境の関係について十分な知見が得られずこの分野の研究はまだ途上であることがあらためて明らかになった。

一方、既存調査の再分析からは、意識と実践の相関が高いことが示唆された。「居住リテラシー」の啓発・向上について先駆的な取り組みをしている自治体もあることから、このような取り組みを参考にして、住民の健康に対する意識の向上を図るための適切な介入方法について今後検討を深めていきたい。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- 1) 阪東美智子. コロナ禍における室内の除菌・消毒に関する意識と行動. 2024年度日本建築学会大会（北海道）；2024.8.27-30；北海道. 学術講演梗概集 建築計画. (DVD収録).

G. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表 1 居住リテラシーに関するデータベース検索結果

	タイトル	著者	雑誌・書籍名等
CiNii	<リテラシー 住宅 居住>本文あり 2000-2023		12件 2023/8/4
1	住宅における D a m p n e s s の室内環境の解明と健康リスクマネジメント	長谷川 兼一, 三田村 輝章, 鎌直樹, 他	基盤研究(B)17H03356
2	高齢年団地における高齢期居住の温熱環境リテラシー向上に資する多職種連携モデル構築	田中 稲, 藤岡 泰寛	基盤研究(C)17K00781
3	超高齢・省エネ時代の居住に係る健康リスクとリテラシー効果の推定法	林 基哉, 金 勲, 他	16H02380
4	住み継ぐという住まい方の実現に向けた住情報支援に関する研究	趙 賢株, 高田 光雄, 大島 祥子, 鈴森 素子, 馬場 正尊	住総研究論文集 2015 年 41 巻 p. 157-168
5	省エネ・住環境教育としての住環境リテラシー構築と環境意識着法	土川 忠浩	萌芽研究 17656185 2005 - 2006
Jdream III	<リテラシー 住宅 健康>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		6件 2023/8/7
6	新型コロナウイルス感染下における居住リテラシーに関するWEB調査 その2 冬期の調査結果	川崎 嵩, 菊田 弘輝, 林基哉, 阪東美智子, 長谷川 兼一, 澤地 孝男	日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM) Vol.2022 Page.ROMBUNNO.40420 (2022.07.20)
7	新型コロナウイルス感染下における居住リテラシーに関するWEB調査 その1 春期及び夏期の調査結果	川崎 嵩, 菊田 弘輝, 林基哉, 阪東美智子, 長谷川 兼一, 澤地 孝男	日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM) Vol.2021 Page.ROMBUNNO.40476 (2021.07.20)
8	バツッ換気住宅における換気特性と室内環境 その3 サーマルダンパー給気口の試作と換気特性	林基哉, KIM Hoon, 本間義規, 松永潤一郎	日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM) Vol.2019 Page.ROMBUNNO.41377 (2019.07.20)
9	おとなの住生活力の実態についての調査研究	碓田 智子, 岩前 篤, 瀬波 章子, 檜谷 美恵子	日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM) Vol.2019 Page.ROMBUNNO.8147 (2019.07.20)
10	IoT機器のネットワーク化によるスマートホーム実現に向けて	藤岡 一郎, 辻岡 徹也, 山下 浩祐	計測と制御 Vol.57 No.9 Page.643-646(J-STAGE) (2018)
Jdream III	<リテラシー 居住 健康>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		7件 2023/8/7
11	ネパール国カスカ郡における児童の栄養状態に関連する保護者の健康の社会的決定要因の検討: 観察横断研究	神崎 真姫, Poudel Janak, Acharya Prakash, 河田 里奈, 小田 容子, 奥川 裕子, 木村 健司, 酒井 ひろ子	国際保健医療(Web) Vol.36 No.2 Page.49-62(J-STAGE) (2021)
Jdream III	<リテラシー 住宅>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		19件 2023/8/7
12	住まい・まちづくりに関する経験・知識・行動・意識の研究 その1 Webアンケート調査の概要と住経験の世代差	延原 理恵, 田中 勝, 川田 菜穂子, 碓田 智子	日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM) Vol.2022 Page.ROMBUNNO.8011 (2022.07.20)
Jdream III	<リテラシー 居住>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		18件 2023/8/7
13	新型コロナウイルス感染症流行による中国瀋陽市民の生活習慣および環境意識の変化	SUN Xu, 関根 嘉香, 鈴木 路子	室内環境 Vol.25 No.1 Page.13-20(J-STAGE) (2022)
Jdream III	<リテラシー 住宅 健康>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 英語 最新10年		121件 2023/8/7
14	Associations between media use, self-efficacy, and health literacy among Chinese rural and urban elderly: A moderated mediation model	Yu Yebo, Wu Yiho, Wu Yiho, Huang Zhen, Sun Xinying	Frontiers in Public Health (Web) Vol.11 Page.1104904 (2023)
15	The Politics of Population Health	DAWES DANIEL, GONZALEZ JUAN	Milbank Quarterly Vol.101 No.S1 Page.224-241 (2023)
16	Towards an understanding of the relationship of functional literacy and numeracy to geographical health inequalities	Moon Graham, Aitken Grant, Roderick Paul, Fraser Simon, Rowlands Gill	Social Science & Medicine Vol.143 Page.185-193 (2015)
17	Environmental Health Literacy as Knowing, Feeling, and Believing: Analyzing Linkages between Race, Ethnicity, and Socioeconomic Status and Willingness to Engage in Protective Behaviors against Health Threats	Binder Andrew R., Binder Andrew R., May Katlyn, Murphy John, Gross Anna, Carlsten Elise	International Journal of Environmental Research and Public Health (Web) Vol.19 No.5 Page.2701 (2022)
18	Recursive Path Model for Health Literacy: The Effect of Social Support and Geographical Residence	Biro Eva, Vincze Ferenc, Matyas Gabriella, Matyas Gabriella, Kosa Karolina	Frontiers in Public Health (Web) Vol.9 Page.724995 (2021)
19	Reporting to parents on children's exposures to asthma triggers in low-income and public housing, an interview-based case study of ethics, environmental literacy, individual action, and public health benefits	Perovich Laura J., Perovich Laura J., Ohayon Jennifer Liss, Cousins Elicia Mayuri, Morello-Frosch Rachel, Brown Phil, Adamkiewicz Gary, Brody Julia Green	Environmental Health (Web) Vol.17 No.1 Page.48 (2018)
Jdream III	<リテラシー 住宅 公衆衛生>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		2件 2023/8/7
20	高齢化とICT利活用 7 ドイツ: 高齢者とデジタル化	上田 昌史	ICT World Review Vol.15 No.3 Page.17-18 (2022.09.21)
Jdream III	<リテラシー 住宅 公衆衛生>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 英語 最新10年		63件 2023/8/7
21	Health knowledge and self-efficacy to make health behaviour changes: a survey of older adults living in Ontario social housing	Jasmine Dzerounian, Jasmine Dzerounian, Melissa Pirrie, Leena AISHenaiber, Leena AISHenaiber, Ricardo Angeles, Francine Marzanek, Gina Agarwal, Gina Agarwal	BMC Geriatrics (Web) Vol.22 No.1 Page.1-17 (2022)
22	Making Europe health literate: including older adults in sparsely populated Arctic areas	S. Gustafsdottir, Sonja, K. Sigurdardottir, Arun, K. Sigurdardottir, Arun, Lena Martensson, A. Arnadottir, Solveig	BMC Public Health (Web) Vol.22 No.1 Page.1-12 (2022)
23	A study on the assessment of traffic noise induced annoyance and awareness levels about the potential health effects among residents living around a noise-sensitive area	Gilani Towseef Ahmed, Mir Mohammad Shafi	Environmental Science and Pollution Research Vol.28 No.44 Page.63045-63064 (2021)
24	Initiative on Reducing the "Digital Divide"	Chan Vincent W.S.	IEEE Communications Magazine Vol.59 No.5 Page.4-5 (2021)
25	Older adults living in social housing in Canada: the next COVID-19 hotspot?	Pirrie Melissa, Agarwal Gina, Agarwal Gina	Canadian Journal of Public Health Vol.112 No.1 Page.4-7 (2021)
26	Community-Academic Partnerships to Promote Health Literacy and Address Social Needs Among Low-Income Families During COVID-19	Haidar Amier, Khoei Amelia, Khoei Amelia, Sharma Shreela V.	Journal of Nutrition Education and Behavior Vol.53 No.1 Page.75-78 (2021)
27	New technologies, new disparities: The intersection of electronic health and digital health literacy	Smith Benjamin, Magnani Jared W.	International Journal of Cardiology Vol.292 Page.280-282 (2019)
28	Health literacy profile of recently hospitalised patients in the private hospital setting: a cross sectional survey using the Health Literacy Questionnaire (HLQ)	Bourne Allison, Bourne Allison, Peerbux Shehzaad, Peerbux Shehzaad, Jessup Rebecca, Jessup Rebecca, Staples Margaret, Staples Margaret, Beauchamp Alison, Beauchamp Alison, Beauchamp Alison, Buchbinder Rachelle, Buchbinder	BMC Health Services Research (Web) Vol.18 No.1 Page.877 (2018)
29	Health literacy in substance use disorder treatment: A latent profile analysis	Degan Tayla J., Kelly Peter J., Robinson Laura D., Deane Frank P.	Journal of Substance Abuse Treatment Vol.96 Page.46-52 (2019)

表 1 居住リテラシーに関するデータベース検索結果(続き 1)

PubMed	< literacy residence housing education > 英語 最新10年		35件	2023/8/8
30	Mask-wearing behavior during COVID-19 in China and its correlation with e-health literacy	Wei Zhang, Shu-Fan Chen, Kun-Kun Li, Huan Liu, Hai-Chen Shen, Xian-Cui Zhang	Front Public Health . 2022 Jul 22;10:930653. doi: 10.3389/fpubh.2022.930653. eCollection 2022.	
31	Health literacy on tuberculosis amongst vulnerable segment of population: special reference to Saharia tribe in central India	M Muniyandi, V G Rao, J Bhat, R Yadav, R K Sharma, M K Bhondeley	Indian J Med Res . 2015 May;141(5):640-7. doi: 10.4103/0971-5916.159566.	
32	Virtual engagement of under-resourced communities: Lessons learned during the COVID-19 pandemic for creating crisis-resistant research infrastructure	Andrew D Plunk, Alexandra Carver, Charles Minggia, Kassandra Prasanna, Brynn E Sheehan, Matthew Herman, Cynthia B Burwell, F Gerard Moeller, Alex H Krist, Ethlyn McQueen-Gibson	J Clin Transl Sci . 2022 Apr 4;6(1):e44. doi: 10.1017/cts.2022.385. eCollection 2022.	
PubMed	< health literacy sanitation Housing > 英語 最新10年		5件	2023/8/8
33	Challenges Faced by Rohingya Refugees in the COVID-19 Pandemic	Amit Barua, Ritu Hitesh Karia	Ann Glob Health . 2020 Oct 6;86(1):129. doi: 10.5334/aogh.3052.	
CiNi	<リテラシー 住宅 > 本文あり 2000-2023		59件	2023/8/8
34	建築を専門としない社会人のための建築学習支援に関する研究	松本 篤, 家田 諭, 藤枝 秀樹, 太田 昌宏	住総研研究論文集・実践研究報告集/46 巻 (2020)/書誌	
PubMed	< Housing education residence literacy > 英語 最新10年		35件	2023/8/8
35	Assessing health literacy among older adults living in subsidized housing: a cross-sectional study	Gina Agarwal, Kendra Habing, Melissa Pirrie, Ric Angeles, Francine Marzanek, Jenna Parascandolo	Can J Public Health . 2018 Jun;109(3):401-409. doi: 10.17269/s41997-018-0048-3. Epub 2018 May 9.	
36	Second and Thirdhand Smoke Exposure, Attitudes and Protective Practices: Results from a Survey of Hispanic Residents in Multi-unit Housing	Angelica Delgado-Rendon, Tess Boley Cruz, Daniel Soto, Lourdes Baezconde-Garbanati, Jennifer B Unger	J Immigr Minor Health . 2017 Oct;19(5):1148-1155. doi: 10.1007/s10903-016-0540-x.	
医中誌	<健康リテラシー 居住 > 日本語 英語		18件	2023/8/9
37	都市部近郊の65歳大学参加者における作業と健康に関するヘルスリテラシーの質的な調査 男女の差に着目したSteps for Coding and Theorizationによる分析	平松 恭介, 古田 憲一郎, 南 裕二, 山田 孝	作業行動研究(0919-5300)26巻4号 Page208-218(2023.03)	
38	過疎化が進む地方都市における地域在住高齢者のヘルスリテラシー影響要因 食生活への意識、地域・集団特性、うつ傾向に着目して	山口 智美, 大山 瀬季華, 濱崎 未玲, 中村 美香	老年社会科学(0388-2446)44巻2号 Page181(2022.06)	
39	地域在住自立高齢者の生活空間モビリティに関連する個人要因および環境要因に関する横断研究(Cross-sectional study of individual and environmental factors associated with life-space mobility among community-dwelling independent older people)(原著論文/英語)	Miyashita Tomoha, Tadaoka Etsuko, Arimoto Azusa	Environmental Health and Preventive Medicine(1342-078X)26巻 Page1 of 8-8 of 8(2021.01)	
40	高齢者の医療・健康情報の入手状況と課題	金城 光, 石井 国雄, 齊藤 俊樹, 野村 信威, 濱田 明日也	老年社会科学(0388-2446)39巻1号 Page7-20(2017.04)	
41	地域在住高齢者における日本語版「WHO-5精神的健康状態表」(WHO-5-J)の標準化	岩佐 一, 稲垣 宏樹, 吉田 祐子, 増井 幸恵, 鈴木 隆雄, 吉田 英世, 栗田 圭一	老年社会科学(0388-2446)36巻3号 Page330-339(2014.10)	
42	スリランカでの学齢期児童とコミュニティ居住者間の衛生概念と態度の変化に対する子どもを通じての戦略の妥当性(Application of the child-to-child strategy to change health awareness and behavior among school children and community dwellers in Sri Lanka)(英語)	Kobayashi Hiroshi, Yuasa Motoyuki, Mizoue Tetsuya, Samarasinghe Diyanath	国際保健医療(0917-6543)26巻4号 Page315-321(2011.12)	
医中誌	<リテラシー 住環境 > 日本語 英語		11件	2023/8/9
43	ブラジル在住日系高齢者のヘルスリテラシーと言語環境との関連	坂本 沙也加, 佐々木 晶世, 土肥 眞奈, 服部 紀子, 森口 エミリオ秀幸, 叶谷 由佳	日本健康医学学会雑誌(1343-0025)26巻1号 Page2-6(2017.04)	
44	戦後20年間でなぜ日本の農村は劇的に健康改善を達成できたのか 健康の決定要因別政策介入に関する仮説の検討	湯浅 資之	日本公衆衛生雑誌(0546-1766)64巻3号 Page123-132(2017.03)	
45	国試問題形式による高齢社会に関する基礎知識の確認 社会保障リテラシー向上のために	小田 泰宏	藍野学院紀要(0918-6263)25巻 Page37-46(2012.12)	
医中誌	<リテラシー 知識 居住 > 日本語 英語		5件	2023/8/9
46	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)蔓延下における市民の感染対策に対する価値観と倫理的葛藤	朴峙 周子, 井上 信次, 北川 裕美子, 吉田 浩子, 門田 美恵子, 采女 智津江	生存科学(0917-0138)32巻1号 Page107-124(2021.09)	
医中誌	<リテラシー 居住 情報 >		6件	2023/8/9
医中誌	<ヘルスリテラシー 公衆衛生 居住 > 日本語 英語		20件	2023/8/9
47	"短命県返上と食生活"の今 青森県の短命県返上活動より	中路 重之, 梅田 孝	日本食生活学会誌(1346-9770)32巻4号 Page147-154(2022.03)	
PubMed	< literacy Housing information > 英語 最新10年		156件	2023/8/9
48	Making health information meaningful: Children's health literacy practices	Hannah Fairbrother, Penny Curtis, Elizabeth Goyder	SSM Popul Health . 2016 Jul 16;2:476-484. doi: 10.1016/j.ssmph.2016.06.005. eCollection 2016 Dec.	
49	Determining the relationship between health literacy level and quality of life among the elderly living in nursing homes	Aidin Aryankhesal, Nouredin Niknam, Mahdi Hasani, Nezamaddin Mengelzadeh, Nahid Aghaei, Zeinab Ghaedchukamei, Asaad Ranaei, Ehsan Allah Kalteh, Beheshteh Naghdi	J Educ Health Promot . 2019 Nov 29;8:225. doi: 10.4103/jehp.jehp_310_19. eCollection 2019.	
50	Building Digital Literacy in Older Adults of Low Socioeconomic Status in Singapore (Project Wire Up): Nonrandomized Controlled Trial	Nerice Heng Wen Ngiam, Wan Qi Yee, Nigel Teo, Ka Shing Yow, Amrith Soundararajan, Jie Xin Lim, Haikel A Lim, Angeline Tey, Kai Wen Aaron Tang, Celine Yi Xin Tham, Jamaica Pei Ying Tan, Si Yinn Lu, Sungwon Yoon, Kennedy Yao Yi Ng, Lian Leng	J Med Internet Res . 2022 Dec 2;24(12):e40341. doi: 10.2196/40341.	
51	Health-wellness resources on Canadian immigrant service provider organizations' websites: A content, navigability, usability, and credibility analysis towards service & asset mapping	Ayisha Khalid, Nashit Chowdhury, Mohammad Zi Chowdhury, Tanvir C Turin	J Migr Health . 2022 Sep 13;6:100131. doi: 10.1016/j.jmh.2022.100131. eCollection 2022.	
52	Characterizing the Environmental Health Literacy and Sensemaking of Indoor Air Quality of Research Participants	Kathryn S Tomsho, Erin Polka, Stacey Chacker, David Queeley, Marty Alvarez, Madeleine K Scammell, Karen M Emmons, Rima E Rudd, Gary	Int J Environ Res Public Health . 2022 Feb 16;19(4):2227. doi: 10.3390/ijerph19042227.	
PubMed	< housing environmental health literacy > 英語 最新10年		42件	2023/8/9
53	What Do Childcare Providers Know about Environmental Influences on Children's Health? Implications for Environmental Health Literacy Efforts	Brenda D Koester, Stephanie Sloane, Elinor M Fujimoto, Barbara H Fiase, Leona Yi-Fan Su	Int J Environ Res Public Health . 2021 May 20;18(10):5489. doi: 10.3390/ijerph18105489.	

表 1 居住リテラシーに関するデータベース検索結果(続き 2)

JdreamIII <住宅 病気 予防>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		146件	2023/8/30
54	感染症対策に配慮した改修工事期間における木更津高専学寮運営の記録	清野 哲也 福士 智哉 米村 恵一	木更津工業高等専門学校紀要/56 巻 (2022)/書誌
55	高専学生寮における学生を主体とする健康教育の試み	榎本 貴志, 木之本 奈美, 金坂 尚礼, 高津 浩彰, 伊藤 純子, 高橋 佐和子	豊田工業高等専門学校研究紀要/55 巻 (2023)/書誌
56	新型コロナウイルス感染症リスク低減を考慮した換気の対策と設計	鳥海吉弘	Vol.60 No.2 Page.107-113 (2022.07.31)
57	職住融合型暮らし実現による郊外住宅地の再生にむけての課題 横浜市金沢区における新型コロナウイルス感染症拡大予防のための在宅勤務	齊藤 広子	都市計画論文集/56 巻 (2021) 3 号/書誌
58	転倒・大腿骨近位部骨折で入院した高齢者の環境移行事例から見た多職種による建築的な転倒予防対策の検討<1> : 自宅内の転倒原因となる建築的要因の解明	今枝 秀二郎, 孫 輔卿, 内山 瑛美子, 田中 友規, スタッ ヴォラヴット アンヤポーン, 角川 由香, 馬場 絢子, 田 中 敬明, 飯島 勝矢, 大月 敏雄	日本建築学会計画系論文集/85 巻 (2020) 773 号/書誌
59	住環境と"健康日本21(第二次)"	村上周三, 伊香賀俊治	医学のあゆみ Vol.271 No.10 Page.1146-1151 (2019.12.07)
60	2016年救急活動記録票の分析による福岡県大牟田市での転倒発生場所と受傷事例の特徴	今枝 秀二郎, 大月 敏雄	日本建築学会計画系論文集/84 巻 (2019) 759 号/書誌
61	Sustainable Developmentを旨とした予防医学—vol.19 健康とまちづくりI:住空間デザインの可能性	花里真道	医学のあゆみ Vol.266 No.11 Page.869-874 (2018.09.15)
62	Sustainable Developmentを旨とした予防医学—vol.16 ケミレストダウン・プロジェクト フェーズIII—住宅のイノベーションを目指した取組み	鈴木規道	医学のあゆみ Vol.266 No.6/7 Page.547-554 (2018.08.18)
63	住環境の健康リスク要因とそのマネジメントに関する国内外の動向	東賢一	日本衛生学雑誌(Web) Vol.73 No.2 Page.143-146(J- STAGE) (2018)
64	科学的エビデンスに基づく『新シックハウス症候群に関する相談と対策マニュアル(改訂新版)』を作成して	岸玲子 吉野博 荒木敦子 西條泰明 東賢一 河 合俊夫 大和浩 大澤元毅 柴田英治 田中正敏 増 地あゆみ 湊屋街子	日本衛生学雑誌(Web) Vol.73 No.2 Page.116-129(J- STAGE) (2018)
65	安全・安心機能を備えた高齢者のためのHEMS機器の開発	菅秀樹	電気設備学会誌 Vol.37 No.9 Page.652-655(J-STAGE) (2017)
66	要介護・寝たきりになってさせない高齢透析患者の転倒・骨折と誤嚥性肺炎—サルコペニア・フレイル・ロコモって何?—ナースにできる!転倒・骨折の防ぎかた 3-3 転倒が起こりやすい場所・タイミング	小川治美	透析ケア Vol.21 No.12 Page.1118-1120 (2015.12.01)
JdreamIII <住宅 事故 予防>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ 日本語 最新10年		37件	2023/8/30
67	高齢者住宅における認知症ケア・地域包括ケアの取組み～世田谷中町プロジェクトの取組み事例～	田苗創基, 田苗創基	日本早期認知症学会誌 Vol.11 No.2 Page.67-72 (2018.08.30)
68	社会と取り組む子どもの傷害予防 キッズデザインの取り組み	高橋義則	安全工学 Vol.54 No.4 Page.262-267 (2015.08.15)
69	夏季における高齢者の冷房装置使用の調査:2010・2011の比較	水口恵美子, 中澤浩一, 萱場桃子, 近藤正英, 本田靖	日本生気象学会雑誌 Vol.51 No.1 Page.9-21 (J- STAGE) (2014)
医中誌 <住宅 住まい 病気 予防> 日本語 英語		2件	2023/8/30
70	宅内見守りセンサによる高齢者フレイル検知の試み	森 武俊, 向後 麻亜子	看護理工学会誌(2188-4323)4巻1号 Page2- 14(2017.01)
医中誌 <住宅 事故 予防> 日本語 英語		23件	2023/8/30
71	生活機能評価を受診した女性高齢者における自宅内転倒者の実態とその要因	土井 有羽子, 上野 昌江, 和泉 京子	日本地域看護学会誌/16 巻 (2013) 1 号/書誌
72	高齢者の転倒に関連する住環境リスク要因 介護予防プログラム参加者を対象とした予備的調査から	矢嶋 裕樹, 木下 香織, 馬本 智恵, 古城 幸子	新見公立大学紀要(2185-8489)31巻 Page133- 138(2010.12)
73	地域在住高齢者を対象としたHome Hazard Modification Programの効果	亀井 智子, 梶井 文子, 糸井 和佳, 小坂井 留美, 新野 直	老年看護学(1346-9665)14巻2号 Page42-49(2010.05)
74	自宅で生活する高齢者の転倒の実態と住環境との関連	土井 有羽子, 上野 昌江, 和泉 京子	大阪府立大学看護学部紀要(1880-7844)16巻1号 Page1-8(2010.03)
75	踵軌跡の特徴にもとづいた数式モデルによる安全な階段寸法の分析 高齢社会に対応した法律や指針が推奨する階段寸法の検討	大西 明宏, 江原 義弘	バイオメカニズム学会誌(0285-0885)33巻1号 Page64-72(2009.02)
76	【子どもの安全とバイオメカニズム】子どもの事故予防のための日常生活インフォマティクス	西田 佳史, 本村 陽一, 北村 光司, 山中 龍宏	バイオメカニズム学会誌(0285-0885)33巻1号 Page16-22(2009.02)
77	転倒予防 住環境について	杉原 勝美	四條畷学園大学リハビリテーション学部紀要(1880- 6856)3号 Page63-67(2008.03)
78	住いに関する学生による転倒リスクアセスメント 在宅高齢者の立場での物理的側面を中心に	深澤 圭子, 高岡 哲子	市立名寄短期大学紀要(0916-5975)41巻 Page33- 37(2008.03)
79	都市在住高齢者の転倒・転落事故 救急搬送事例の検討	浅川 康吉, 高橋 龍太郎, 香川 順	日本老年医学会雑誌(0300-9173)38巻4号 Page534- 539(2001.07)
JdreamIII <住まい 病気 事故 予防>抄録付き文献のみ アドバンスドサーチ		8件	2023/9/1
80	高齢者の転倒予防のための住環境	児玉桂子	老年精神医学雑誌 Vol.16 No.8 Page.941-946 (2005.08.20)
JdreamIII <住まい 病気 事故 予防>抄録付き文献のみ クイックサーチ 日本語 最新5年		171件	2023/9/1
81	地域のなかで, 「リハビリ」×「建築」の融合を図る	上田哲也	日本転倒予防学会誌(Web) Vol.9 No.1 Page.15-16 (WEB ONLY) (2022.06.10)
82	住環境整備・住宅改修のポイント 認知機能低下と住環境整備	上村智子, 鈴木朝香, 鈴木朝香, 大塚りさ, 長谷川文	作業療法ジャーナル Vol.55 No.6 Page.549-553 (2021.06.15)
83	高齢者の転倒と予防 感覚・認知機能からみた転倒予防のための生活環境整備	中條浩樹	理学療法ジャーナル Vol.53 No.1 Page.29-35 (2019.01.15)

表2 J-STAGE 日本建築学会環境系論文集内検索結果

	タイトル	著者	キーワード	(温熱)	(湿度/温気)	(換気)	(空気質)	(光・照(環境一般))
1	住宅のエネルギー消費量と健康性の評価に関する研究 熱負荷シミュレーションを使用した戸建住宅の高断熱・高気密化に関する検討 その1	芹川 真樹, 佐藤 誠, 長井 達夫, 秋元 孝之	健康, BEST, 温度差, 住宅, 温熱環境	○				
2	教室環境の質が児童の体調と集中力に与える影響に関する実態調査	柳井 悠希, 伊香賀 俊治, 川久保 俊	教室環境, CASBEE, 知覚, 満足度, 健康, 学習効率					○
3	CASBEE健康チェックリストの暖かさに関する設問を活用した冬季住環境評価手法「暖かさの得点」の被験者実験による有効性検討	新木 由美子, 渡邊 陽介, 若林 航也, 田辺 新一, 鍵屋 慎一, 藤村 寛子, 津田 圭子	健康, 被験者実験, 熱的快適性, 温熱環境, 温度差	○				
4	住環境満足度と居住者のストレス・健康感の関連分析	堤仁美, 長澤 夏子, 加藤 龍一, 松岡 由紀子, 秋山 友里, 秋元 孝之, 田辺 新一	健康, 住環境満足度, ストレス, 共分散構造分析					○
5	健康維持がもたらす間接的便益(NEB)を考慮した住宅断熱の投資評価	伊香賀 俊治, 江口 里佳, 村上 周三, 岩前 篤, 星 旦二, 水石 仁, 川久保 俊, 奥村 公英	断熱性能, 健康, 間接的便益, 省エネルギー	○				
6	住環境が居住者の健康維持増進に与える影響に関する研究 全国の戸建住宅の環境性能と居住者の健康状態に関する実態調査	川久保 俊, 伊香賀 俊治, 村上 周三, 星 旦二, 安藤 真太郎	住環境, 戸建住宅, 居住者の健康状態, WEB調査					○
7	公立小中学校への空調一斉導入の効果に関する研究 温熱環境および教育面・健康面の効果	伊坂 善明, 飛田 国人, 松原 善樹	学校, 学習態度, 空調, 健康, アンケート調査, 温熱環境	○				
8	エネルギー消費量と健康性を考慮した戸建住宅の部分断熱改修の事例研究	藤井 香葉子, 新井 通, 若林 航也, 深和 佑太, 戸邊 亮司, 永井 拓生, 中川 純, 田辺 新一	部分断熱改修, 健康性, エネルギー消費量, 数値計算	○				
9	冬季積雪寒冷地の自宅住環境が高齢者の生活習慣や健康状態に及ぼす影響	大沼 勇人, 森 太郎, 岩間 雄介	健康問題, 疾患, 高齢者, 室内温熱環境, 調整オッズ比	○				
10	居住環境と家事が慢性疼痛に及ぼす影響の調査と構造分析	長澤 夏子, 堤仁美, 松岡 由紀子, 加藤 龍一, 秋元 孝之, 田辺 新一	健康増進, 慢性疼痛, 居住環境, 家事, 共分散構造分析					○
11	居住環境と家事が慢性腰痛に及ぼす影響の属性別分析	長澤 夏子, 堤仁美, 松岡 由紀子, 加藤 龍一, 秋元 孝之, 田辺 新一	健康増進, 慢性腰痛, 居住環境, 家事, 共分散構造分析					○
12	全館冷暖房による均一な温熱環境が居住者の睡眠指標へ及ぼす影響	梅本 大輔, 岡谷 佳子, 中川 浩, 上林 清香, 河本 紗弥, 伊香賀 俊治	空調設備, 温熱環境, 睡眠効率, 入眠時, 健康, 実測調査	○				
13	住宅における乾燥感の実態と乾燥による健康影響に関する調査研究	長谷川 兼一, 吉野 博, 三田村 輝章	住宅の乾燥, 健康影響, 室内温湿度, 化学物質濃度, 全国調査	○	○			
14	シックハウスにおける室内環境と居住者の健康に関する調査研究 その2 宮城県内の30軒を中心とした住宅における長期継続観察	吉野 博, 中村 安季, 安藤 直也, 池田 耕一, 野崎 淳夫, 角田 和彦, 北條 祥子, 天野 健太郎	シックハウス症候群, 実測調査, 継続的観察, 健康影響, 統計				○	
15	地域在住高齢者の要介護認定年齢と冬季住宅内温熱環境の多変量解析 冬季の住宅内温熱環境が要介護状態に及ぼす影響の実態調査 その2	中島 侑江, 伊香賀 俊治, 小野 万里, 星 旦二, 安藤 真太郎	介護予防, 健康寿命, 室温, 高齢者, 多変量解析, 後ろ向き調査	○				
16	居住環境における健康維持増進に関する縦断調査 住まいの満足とストレス・腰痛の構造モデルによる因果構造	長澤 夏子, 山口 莉加, 加藤 龍一, 田辺 新一	健康増進, 慢性腰痛, 居住環境, 共分散構造分析, 縦断調査					○
17	室内空気汚染による健康被害のライフサイクル影響評価手法の開発—室内空気汚染による健康被害に関する研究(その3)—	成田 菜探, 村上 周三, 伊香賀 俊治, 坂部 貴, 伊坪 徳宏	室内空気汚染, 健康被害, シックハウス症候群, DALY, LIME				○	
18	空調方式が住宅居住者の健康症状・生活の質に及ぼす影響に関する調査研究	梅本 大輔, 岡谷 佳子, 中川 浩, 上林 清香, 伊香賀 俊治	空調設備, 温熱環境, 空気質, 健康症状, 生活の質, アンケート調査	○			○	
19	都市における屋外気温変化が多額の疾患に与える影響の総合評価	鳴海 大典, 井原 智彦, 福田 早苗, 下田 吉之	ヒートアイランド, 地球温暖化, 健康, 被害評価, ライフサイクル評価	○				
20	シックハウスにおける室内環境と居住者の健康に関する調査研究 その1 宮城県内の62軒の住宅における調査結果	吉野 博, 中村 安季, 池田 耕一, 野崎 淳夫, 角田 和彦, 北條 祥子, 天野 健太郎, 石川 哲	シックハウス症候群, 実測調査, VOC, ホルムアルデヒド, 健康影響, 統計				○	
21	住宅のダンプネスと室内環境に関する調査研究—筆者らが提案するダンプネスの評価指標と室内湿度の関連—	長谷川 兼一, 鍵 直樹, 坂口 淳, 篠原 直秀, 白石 靖幸, 三田村 輝章	ダンプネス, 室内環境, 温湿度, ダンプネスの評価法, 健康影響	○	○			
22	室内空気汚染のライフサイクルインパクト評価手法の開発: 室内空気汚染による健康被害に関する研究(その1)	成田 菜探, 村上 周三, 伊香賀 俊治, 坂部 貴, 伊坪 徳宏, 水石 仁	室内空気汚染, 人間健康被害, DALY, ホルムアルデヒド, NOx, SOx				○	
23	住宅内温熱環境と居住者の介護予防に関するイベントヒストリー分析—冬季の住宅内温熱環境が要介護状態に及ぼす影響の実態調査—	林 侑江, 伊香賀 俊治, 星 旦二, 安藤 真太郎	介護予防, 健康寿命, 住宅内温熱環境, 高齢者, 温冷感申告, カプラン・マイヤー法	○				
24	高断熱住宅への住み替えによる冬季の睡眠の質への影響	海塩 沙, 伊香賀 俊治, 大塚 知佳	睡眠の質, 室温, 住み替え, 高断熱住宅, 実態調査, 追跡調査	○				
25	自由行動下血圧測定に基づく寢室室温の早朝血圧変動への影響	海塩 沙, 伊香賀 俊治, 大塚 邦明, 安藤 真太郎	自由行動下血圧, モーニングサージ, 室内温熱環境, 実測調査, 高齢者, 中山間地域	○				
26	高断熱住宅への住み替え前後の家庭血圧比較—冬季の室内温熱環境が血圧に及ぼす影響の実態調査(その3)—	海塩 沙, 伊香賀 俊治, 安藤 真太郎, 大塚 邦明	家庭血圧, 室温, 住み替え, 高断熱住宅, 実態調査, 因果関係	○				
27	マルチレベルモデルに基づく室温による家庭血圧への影響—冬季の室内温熱環境が血圧に及ぼす影響の実態調査(その2)—	海塩 沙, 伊香賀 俊治, 安藤 真太郎, 大塚 邦明	家庭血圧, 室内温熱環境, 実態調査, マルチレベルモデル, 反復測定, 文脈効果	○				
28	空調制御による夏季の睡眠環境に関する研究 全熱交換型全館空調住宅における影響	岩城 朱美, 秋元 孝之, 吉橋 拓也	睡眠, 全館空調, 個別空調, 冷気流, δパワ	○				
29	個人因子別の家庭血圧上昇量に関する分析—冬季の室内温熱環境が血圧に及ぼす影響の実態調査—	海塩 沙, 伊香賀 俊治, 大塚 邦明, 安藤 真太郎	家庭血圧, 室内温熱環境, 個人属性, 生活習慣, 実態調査, IV地域	○				
30	冷房方式の違いによる睡眠時の生理心理反応の違いに関する実験的研究	糸井川 高穂, 羽山 広文, 山岸 浩	天井放射冷房, 対流式冷房, 睡眠	○				
31	起床及び就床前時間帯における寒冷曝露のリスク保有者検証 同一自治体980名を対象とした室温実測調査	福積 慶大, 安藤 真太郎, 伊香賀 俊治, 海塩 沙, 中川 朝陽, 星 旦二	西日本中山間地域, フィールド調査, 多項ロジスティック回帰分析, 過活動膀胱, 高血圧	○				
32	住宅断熱性能の違いが生理学的反応及び在宅作業成績に及ぼす影響に関する被験者実験	河本 紗弥, 伊香賀 俊治, 満倉 靖恵, 吉田 吏志, 池田 知之	断熱性能, 被験者実験, 血圧, 皮膚温度, 血流量, 在宅勤務	○				
33	サーカディアンリズムを考慮したオフィスの温熱環境制御が執務者の深部体温とその他生理・心理・作業効率に与える影響	高橋 祐樹, 加藤 健介, 小林 敬幸, 吉井 光信, 上原 茂男, 樋口 祥明, 高橋 幹雄, 石川 敦雄, 黒木 友裕, 野崎 尚子	温熱環境, 概日リズム, 深部体温, 心電, コルチゾール, 被験者実験	○				
34	児童のアレルギー性症状と居住環境要因との関連性に関する調査研究—アンケート調査結果を用いた健康影響要因に関する統計分析—	吉野 博, 長谷川 兼一, 阿部 恵子, 池田 耕一, 三田村 輝章, 柳 宇	居住環境要因, アレルギー性症状, 児童, ダンプネス, アンケート調査		○			
35	中国都市部における住宅内空気環境と児童のアレルギー性疾患との関連性についての調査	吉野 博, 柳 宇, 大竹 徹, 藤原 延, 長谷川 兼一, 鍵 直樹	アレルギー性疾患, 室内環境, アンケート調査, 実測調査				○	
36	住宅のダンプネスのアンケートによる評価法の提案と子供のアレルギー疾患に及ぼす影響に関する全国調査	長谷川 兼一, 鍵 直樹, 坂口 淳, 篠原 直秀, 白石 靖幸, 三田村 輝章	ダンプネス, 室内環境, アレルギー疾患, 子供, アンケート調査	○				
37	埼玉県における居住環境とアレルギー性疾患の関連性に関する調査研究	東賢一, 塩津 弥佳, 池田 耕一	アンケート調査, 居住環境, アレルギー性疾患, シックハウス症候群, 多変量解析, ロジスティック回帰分析				○	

表2 J-STAGE 日本建築学会環境系論文集内検索結果(続き)

	タイトル	著者	キーワード	(温熱)	(湿度/湿度)	(換気)	(空気質)	(光・照(環境)	(騒音)
38	住宅における結露・カビの発生要因に関する調査研究 児童のアレルギー性疾患と関連する居住環境要因の改善に向けて	吉野 博, 北澤 幸絵, 長谷川 兼一	2014年79巻698号 p.365-371	室内環境, ダンプネス, 結露, カビ, アンケート調査, 統計分析		○			
39	住宅のダンプネスの経年変化が小児・児童のアレルギー性症状に及ぼす影響に関する全国調査	長谷川 兼一, 鍵 直樹, 坂口 淳, 藤原 直秀, 白石 靖幸, 三田村 輝章	2018年83巻754号 p.1025-1032	ダンプネス, 室内環境, アレルギー性症状, 子供, アンケート調査, 2年間の追跡調査		○			
40	冬季の室内温湿度変動からみた温熱性能・環境 一般住宅とアトピー性皮膚炎患者宅の比較	青木 哲, 須藤 千春, 水谷 章夫, 大澤 徹夫	2009年74巻637号 p.305-314	熱容量, 断熱性能, 気密性能, 換気, 湿気量, アトピー性皮膚炎		○	○		
41	室内温湿度からみた冷房の効果に関する研究: 一般住宅とアトピー性皮膚炎患者宅の比較	青木 哲, 須藤 千春, 水谷 章夫, 大澤 徹夫	2006年71巻605号 p.55-62	冷房, 室内温湿度, 温熱性能, 除湿, アトピー性皮膚炎		○	○		
42	中間期の換気行為に着目した都市部の保育施設における換気に関する研究	種子 慎也, 田中 穂子, 富島 光希, 松橋 圭子	2023年88巻806号 p.288-299	保育施設, 換気行為, 中間期, 実測調査, 換気量, CO2濃度			○	○	
43	健康維持増進に向けた地域環境評価ツールの開発と有効性の検証	出口 満, 伊香賀 俊治, 村上 周三, 白石 靖幸, 星 且二, 加藤 龍一, 川久保 俊, 安藤 真太郎	2012年77巻681号 p.837-846	健康維持増進, 住宅, 地域環境, アンケート調査, ロジスティック回帰分析					○
44	健康維持増進に向けた住環境評価ツールの有効性の検証	高橋 絵里, 伊香賀 俊治, 村上 周三, 清家 剛, 中野 淳太	2011年76巻670号 p.1101-1108	健康維持増進, 住宅, アンケート調査, 影響評価, 断熱改修, 居住者意識		○			
45	住宅設計初期段階用の居住者被害算定型LCAツールの開発 戸建住宅における評価対象範囲の検討 その1	高山 あずさ, 浅野 耕一, 長谷川 兼一, 菅野 秀人, 村田 涼, 天間 佑貴, 金子 尚志	2013年78巻691号 p.719-724	LCA, 被害算定型, 住宅設計, 健康リスク, 地震リスク					○
46	タスク照明の個人制御が知的生産性に与える影響に関する研究	西川 雅弥, 西原 直枝, 田辺 新一	2006年71巻603号 p.101-109	知的生産性, 疲労, 作業効率, 個人制御, タスク・アンビエント照明					○
47	室内滞在時の皮膚含水率と室温の関係についての実態調査	開原 典子, 高田 暁	2017年82巻734号 p.337-345	皮膚, 含水率, 実態調査, 室温, 室内環境		○	○		
48	環境美で快適な住環境を実現する住者の意識と「気候の健康」に関する検討 サークラリズムを考慮したオフィスの温熱環境制御が執務者の深部体温とその他生理・心理・作業効率に及ぼす影響 その2	高橋 祐樹, 加藤 信介, 小林 敬孝, 吉井 光信, 上原 茂男, 樋口 祥明, 高橋 幹雄, 石川 敦雄, 黒木 友裕, 野崎 尚子	2014年79巻695号 p.11-17	温熱環境, 概日リズム, 深部体温, 心電, コルチゾール, 被験者実験					
49	仙台市を中心とする応急仮設住宅を対象とした屋内外環境の健康影響に関するアンケート調査	長谷川 兼一, 吉野 博, 柳 宇, 東賢一, 大澤 元毅, 鍵 直樹	2017年82巻741号 p.967-975	応急仮設住宅, 居住環境, 健康影響, アンケート調査, ロジスティック回帰分析					○
50	有料老人ホームの冬季室内温熱環境が入居者の要介護度の重症化に及ぼす影響-介護施設の室内温熱環境と入居者の要介護状態に関する実態調査-	林 侑江, 伊香賀 俊治, 安藤 真太郎, 星 且二	2018年83巻745号 p.225-233	介護予防, 室温, 湿度, 高齢者施設, 実態調査, イベントヒストリー分析		○	○		
51	夏期における寝室温熱環境が高齢者の睡眠に及ぼす影響 日常生活における経年実測調査	城戸 千晶, 久保 博子, 東 実千代, 佐々 尚美	2022年87巻800号 p.657-667	高齢者, 寝室温熱環境, 睡眠, 夏期, 経年実測調査					
52	LED照明における光色の休息効果に関する基礎的研究	高 乗佑, 李 承起, 江 欣宸, 古賀 譽章, 平手 小太郎	2011年76巻662号 p.363-368	LED照明, 蛍光灯, 光色, 休息効果, 疲労回復					○
53	脳卒中死亡に関連する住環境要因に関する調査研究-山形県都部の住宅における冬季の温熱環境の実態と高齢者の家庭内血圧-	長谷川 兼一, 吉野 博, 後藤 伴延	2021年86巻785号 p.692-700	脳卒中死亡, 高齢者, 家庭内血圧, 室内温熱環境, 寒冷地, 実測調査		○			
54	住宅内温熱環境の主観評価と要介護度の変化の関連 冬季の住宅内温熱環境が要介護状態に及ぼす影響の実態調査 その3	小野 万里, 伊香賀 俊治, 中島 侑江, 星 且二	2020年85巻769号 p.197-204	住宅内温熱環境, 介護予防, 室温, 高齢者, 多変量解析, 後ろ向き研究		○			
55	脳卒中死亡に関連する住環境要因に関する調査研究-山形県都部を対象としたアンケート調査-	長谷川 兼一, 吉野 博, 後藤 伴延	2020年85巻768号 p.169-176	脳血管疾患, 高齢者, 住環境, 室内温熱環境, 寒冷地, 疫学調査		○			
56	冬季住宅寒冷地の自宅住環境が高齢者の生活習慣や健康状態に及ぼす影響	大沼 勇人, 森 太郎, 岩間 雄介	2020年85巻774号 p.625-632	健康問題, 疾患, 高齢者, 室内温熱環境, 調整オッズ比		○			
57	住宅の温熱環境及び断熱性能による身体活動への影響	柳澤 惠, 伊香賀 俊治, 安藤 真太郎, 樋野 公宏, 星 且二	2015年80巻716号 p.985-992	身体活動, 住宅内温熱環境, 断熱性能, 実測調査, 重回帰分析		○			
58	住空間における年齢と生活行為を考慮した照明に関する研究 定常照明時における適当な照度と色温度	大江 由起, 井上 容子, 丹後 みづき	2020年85巻776号 p.725-732	照明環境, 年齢層, 生活行為, 照度, 色温度		○			○
59	冬季住宅における冷え症者と非冷え症者の生理心理量の比較	都築 弘政, 齊藤 真理子, 田辺 新一	2015年80巻709号 p.211-219	冷え症, 被験者実験, 熱的快適感, 熱画像, 指先皮膚温, 許容室温		○			
60	睡眠不足に伴うストレスが生体発散物質放出量および知覚空気質に及ぼす影響	稲坂 まりな, 野島 聖菜, 伊藤 澪彩, 田辺 新一	2022年87巻792号 p.113-122	体臭, 生体発散物質, 睡眠不足, 知覚空気質, 嗅覚閾値, 代謝量			○		
61	イメージグリッド法を用いた健康形成要因構造に関する研究	高橋 浩伸, 大井 尚行	2015年80巻715号 p.695-701	健康形成要因構造, イメージグリッド法, 健康, 住環境, 評価構造					○
62	夏季の温熱環境制御が睡眠と翌日の作業効率に及ぼす影響の経済性評価	本多 英里, 伊香賀 俊治, 大平 昇, 岡島 慶治, 海塩 渉	2016年81巻724号 p.523-533	温熱環境制御, 経済性評価, 睡眠, 作業効率, エネルギー消費量, 被験者実験		○			
63	環境要因と被験者の体動及び心拍変動が主観的睡眠感に及ぼす影響	太田 周彰, 岩前 篤, 木村 文雄, 安福 勝, 平栗 靖浩	2020年85巻778号 p.923-933	睡眠, 温熱環境, 心拍数, HRV, バイタルサイン, マット式センサー		○			
64	睡眠時における人体熱負荷と睡眠の質の関係に関する研究	井上 莉沙, 高橋 好斗, 尾方 壮行, 都築 和代, 田辺 新一	2019年84巻764号 p.919-926	睡眠, 温熱環境評価, 季節, 深睡眠, 熱伝導, 寝姿勢		○			
65	寝室の快適温度と環境調整行動に関するフィールド調査	今川 光, リジャル H.B., 宿谷 昌則	2016年81巻728号 p.875-883	実測, 寝室, 温熱環境, 熱的快適性, 環境調整行動		○			
66	問題比較型影響評価手法を用いた都市気温上昇に伴う軽度の健康影響の推定	井原 智彦, 日下 博幸, 原 政之, 松橋 隆治, 吉田 好邦	2011年76巻662号 p.459-467	地球温暖化, ヒートアイランド, CVM, 疲労, 熱中症, 睡眠障害		○			
67	2070年代8月を対象とした東京・名古屋・大阪における熱中症および睡眠困難の将来予測 複数のCMIP3-GCMからの力学的ダウンスケール実験と問題比較型影響評価手法による健康影響評価	日下 博幸, 飯島 奈津美, 井原 智彦, 原 政之, 高根 雄也, 飯塚 悟	2013年78巻693号 p.873-881	力学的ダウンスケールリング, WRFモデル, 影響評価, ヒートアイランド, 地球温暖化		○			
68	夏季の自宅寝室における温熱環境が睡眠段階を考慮した睡眠の質に及ぼす影響	秋山 雄一, 三宅 純英香, 松崎 里穂, 尾方 壮行, 都築 和代, 田辺 新一	2018年83巻745号 p.277-284	睡眠, 脳波, 実測調査, 温熱環境, 中途覚醒					
69	病室を対象とした天井放射冷房が睡眠時の人体生理・心理反応に及ぼす影響	小川 裕子, 白石 靖幸, 浅川 卓也, 塚見 史郎, 小森 俊祐	2019年84巻761号 p.643-651	病室, 被験者実験, 睡眠, 天井放射冷房システム, 人体生理・心理反応, CFD解析		○			
70	窓の断熱改修が住宅の温熱環境と高齢者の生活および健康に及ぼす影響に関する研究	森 郁恵, 都築 和代, 安岡 純子, 坂本 雄三, 高橋 龍太郎	2014年79巻706号 p.1061-1069	室内温熱環境, 断熱改修, 内窓, 冬季, 高齢者		○			
71	居住者の環境調整行動を考慮した温熱性能評価方法	深澤 たまき, 須永 修通	2007年72巻617号 p.81-86	環境共生住宅, 評価法, 快適範囲, 環境調整行動, 自然室温		○			
72	共分散構造分析に基づく青壮年期・高齢期の健康形成要因構造モデルの提案-北九州市郊外住宅地における住宅・地域環境の健康決定要因に関する研究(その1)-	安藤 真太郎, 白石 靖幸, 伊香賀 俊治, 星 且二	2011年76巻664号 p.573-580	住宅・地域環境, アンケート調査, 都市圏郊外住宅地, 健康関連要因, 共分散構造分析, 多重指標モデル					○
73	多重指標モデルの構築に基づく青壮年期・高齢期住民の健康に関する階層構造分析-住宅と地域環境における健康形成構造の地域間比較-	安藤 真太郎, 伊香賀 俊治, 白石 靖幸, 星 且二, 川村 健一, 川久保 俊, 大重 和恵	2012年77巻675号 p.389-397	住宅・地域環境, アンケート調査, 構造方程式モデリング, 多重指標モデル, 地域間比較, 青壮年期・高齢期					○

表3 メディア・企業・自治体等が提供している健康と住まいに関する情報

団体・機関・学校名	概要	サイトで提供されている具体的情報等
1 一般社団法人住教育推進	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の自治体と連携し空き家の発生抑制を目的にした「住教育カードゲーム」を行っている。 ・空き家問題以外にも住まいの消費者教育も実施している ・Webセミナー、住育学校、木のソムリエツアー等を通じた住教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・住教育チャンネル 動画 https://www.youtube.com/channel/UCiA7L6_37Ok1U5dVq8YtE3A
2 一般財団法人住総研	<ul style="list-style-type: none"> ①「住まい・まち学習」教育実践研修会・・・実践を通して「住まい・まち学習」のスキルを育成 ②住教育授業づくり助成・・・住教育授業に取り組む小・中・高校に対し費用助成 ③学習指導要領と住教育・・・住教育に関する学習指導要領 	<ul style="list-style-type: none"> ①http://www.jusoken.or.jp/diffuse/study.html ・「住まい・まち学習」教育実践研修会の動画 http://www.jusoken.or.jp/movie/movielist3.html ・「住まい・まち学習」授業実施例の動画 http://www.jusoken.or.jp/movie/movielist4.html ②住教育の授業づくりガイドhttp://www.jh-a.or.jp/jyuuseikatu/contents/zyuukyokuiku/index.html ・住教育授業づくり助成 授業実施例 http://www.jusoken.or.jp/diffuse/report.html ○住教育委員会 書籍 『まちはこどものワンダーランド』一般財団法人住総研 住教育委員会（発行当時） 延藤 安弘/小澤紀美子/木下 勇/加藤 仁美/町田万里子 発行日 1998年7月1日
3 住宅情報提供協議会	親子の住まい方教室・・・「住まいの情報発信局」と「都市住宅学会」の共同企画	
4 東京都住宅政策本部	TOKYOすまいと・・・住まい選びの東京アクセスガイドのサイト	住教育のクイズや知識が、小学生向け、中学生向け、大人向けに分かれて分かりやすくイラストとともに説明されている。
5 神戸市すまいの安心支援センター 「すまいるネット」	住教育支援・・・将来の住まいの主体となる子どもたちがすまいと暮らしについて自ら考える力を身につけていくため、現場の先生や建築士などの専門家とのネットワークを組んで、学校での住教育の授業のサポートしている	<ul style="list-style-type: none"> ①住教育支援の活動内容・・・住教育プログラムの紹介動画（教職員の方向け）あり ②授業プログラム ③参考資料 ④推進体制・・・団法人兵庫建築士会 住教育支援チーム、 神戸市すまいの安心支援センター「すまいるネット」 ⑤その他・・・すまいるネットとの連携団体である（社）日本建築家協会（JIA）近畿支部兵庫地域会でも、住教育活動（すまいまちづくり育成塾）をおこなっている。⇒No6へ
6 (社)日本建築家協会〔J教育プログラム。小学校・中学校の教室、またはオンライン形式。子どもが扱いやすい教材を用いて個人と社会の繋がりを体験的に学習。住育学校・・・住育コンシェルジュによって開催される「消費者が自分の住	すまいまちづくり育成塾・・・義務教育課程における正規授業としての建築教育プログラム。小学校・中学校の教室、またはオンライン形式。子どもが扱いやすい教材を用いて個人と社会の繋がりを体験的に学習。住育学校・・・住育コンシェルジュによって開催される「消費者が自分の住	
7 一般社団法人住まい教育	まいについて選択ができる力を養うための学びの場」。全国統一カリキュラム（全5回）で開催され、途中からの参加や1回だけの受講も可能。	
8 横水ハウス	教育支援活動・・・国や地方自治体、教育機関と連携し、未来を担う子どもたちが体験しながらすまいについて楽しく学べる機会の提供や職業体験の受け入れ等を実施している。	<ul style="list-style-type: none"> ①Minecraftカップ全国大会応援・・・子供たちのプログラミング思考を支援、住まいやSDGsの学習機会の提供でサポート。2022年レポート⇒https://www.sekisuihouse.co.jp/minecraftcup2022/news_20230310.html ②みんなの家！未来の家！・・・家という身近な題材を用いてプログラミング×家づくりをテーマに考えて学ぶ小学生向けの授業。動画⇒https://www.youtube.com/watch?v=GthZziMxnWE ③幸せ住まい学習・・・展示施設やモデルハウスを探索しながら、家づくりの工夫（幸せポイント）を探し、小・中学生を対象としたキャリア教育プログラム。詳細⇒https://www.sekisuihouse.co.jp/company/sustainable/education/careerprogram/ ④その他の授業プログラム・・・「温暖化防止」「生態系保全」「資源循環」をテーマにした環境学習や、研究開発で培った技術やノウハウをもとに「明るさ・快適性」、「安全・安心」、「防災」をテーマにした授業プログラムを展開。詳細⇒https://www.sekisuihouse.co.jp/company/sustainable/education/themedclasses/
9 LIXIL	出前授業・・・ESD教育への支援として、グローバルな衛生課題や環境問題、多様性の尊重などをテーマに、オリジナルの教材による出前授業を全国の学校やイベントなどで実施している。授業の各テーマは、LIXILのインパクト戦略で定める3つの優先取り組み分野（「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」）や、その基盤となる倫理的な事業活動の一つ「品質・顧客満足」に関わる内容。従業員はその専門知識を活かし、教材開発に関わるほか、授業の講師やサポーターとして参加している。このプログラムは国連が掲げているSDGs（持続可能な開発目標）に関連している。	<ul style="list-style-type: none"> ○健康と環境により住まい方・・・住まいや住まい方について、家の模型を使用した実験や体験などをもとに、自然の力を生かした工夫を理解し、快適にまい続けるための「健康」と「環境」という新たな視点で、自分にできることを考える。 詳細は⇒https://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/community/education/ed_healthyliving.html ○『ひとりいい、みんなにいい、ずっといい～ユニバーサルデザイン～』・・・街や家の中の身近なユニバーサルデザインを「わかりやすい」「使いやすい」「安全・安心」の3つのポイントで学ぶ。詳細は⇒https://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/community/education/ed_universal.html ○『家の中の安全を考えよう～安全教育授業プログラム～』・・・家の中の事故による死者数は、交通事故による死者数の約4倍になっています。このような状況を受けて、子どもたちの家の中の事故防止と、将来自ら主体的に判断・行動して安全なくらしを送ることができるようにすることを目的として、安全教育を展開。詳細は⇒https://www.lixil.co.jp/corporate/sustainability/community/education/ed_safety.html
10 青森県土整備部建築住	住教育支援サイト このサイトは、次世代の住生活やまちづくりを担う児童生徒の生きる力を育成するため、県内の小学校、中学校及び高等学校で実施される住教育（住まい・住環境学習）を支援することを目的としています。	<ul style="list-style-type: none"> ①青森県住まい・住まい方読本 https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kenju/files/sumaisumaiakatadokuhon_00.pdf ②リビングリテラシー Vol.1～青森県住生活リーフレット～ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kenju/files/06_Leaflet-an.pdf ③リビングリテラシー向上プログラム推進事業 https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kenju/files/13_jigyougaiyou.pdf ④青森県住まい・住環境学習指針 https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kenju/files/20180330_gakushusisin.pdf ⑤知ってください！使ってください！住居性能表示制度！（青森県版パンフレット） https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kenju/files/seinouhouyouji.pdf ⑥「安全」に「安心」に「健康」に暮らせる住宅リフォーム～いのちを守るリフォームのすすめ～ https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kenju/files/inochimamoru_pamphlet202308.pdf
11 一般社団法人 日本住宅協会	住教育サイト 住生活月間実行委員会 ●「住生活基本法」（平成18年法律第61号）の目的とする「国民の豊かな住生活の実現」のために関係機関・団体等が広報活動や各種イベントを行って、普及・啓発を図るキャンペーンを行っています。 建設省（現・国土交通省）の主唱により、平成元年から毎年10月を「住宅月間」と定め、関係団体が参加した「住宅月間実行委員会」を中心に、各種行事を実施してきましたが、平成19年度に、「住生活基本法」の成立を受けキャンペーン月間の名称を「住宅月間」から「住生活月間」に改め、「住生活」に関する幅広い分野を対象とする総合的な普及・啓発活動を実施しています。	<ul style="list-style-type: none"> ①学校で住教育に取り組んでみませんか？ http://www.jh-a.or.jp/jyuuseikatu/contents/zyuukyokuiku/index.html ②考えよう！住まい方のくふう（小学校家庭科副読本） http://www.jh-a.or.jp/jyuuseikatu/0201(5.15MB).pdf ③環境にやさしい住まい（小学校家庭科副読本） http://www.jh-a.or.jp/jyuuseikatu/0202(1.91MB).pdf

表3 メディア・企業・自治体等が提供している健康と住まいに関する情報(続き1)

団体・機関・学校名	概要	サイトで提供されている具体的情報等
12 京都市住宅供給公社 京(みやこ)安心すまいセンター	住まいの情報ひろば	住まいの情報ひろば内の「住教育お役立ち情報」に「家庭科」、「総合学習」、「社会」の授業でも活用できる住教育のお役立ち情報を、単元ごとに掲載しています。 ①住教育教材 使用報告書 http://www.kyoto-jksha.or.jp/sumai/education/pdf/202203report.pdf
13 福井県 建築住宅課	福井県では、地域の特性に応じたふくらしい「住まい」「まち並み」「住まい方」をよりよい資産として次世代に継承していくため、住教育に取り組んでいます。	①福井県の住教育活動～中間とりまとめ～ https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenchikujyuutakuka/jyukoiku_d/fil/00_jyukoiku_torimatome.pdf ②住教育シンポジウム https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenchikujyuutakuka/jyukoiku_d/fil/symposium_h24.pdf ③宮大工による体験講座「伝統的建築物に触れよう」実績集 https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenchikujyuutakuka/jyukoiku_d/fil/00_miyadaiku_jisseki.pdf
14 京都教育大学 家庭科教育実践演習-住生活-	初等や中等家庭科教育における住生活分野の内容を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点でとらえ、専門知識や理論と関連づけて解説する。さらに、学校教育における住教育の現状を分析し、社会の変化に対応して、よりよい住生活を営むための住生活分野の課題を設定し、文献調査やフィールドワーク、授業実践のための演習を行い、学校教育における住生活分野の授業実践のための理論と実践を学ぶ。	
15 群馬県住宅供給公社	群馬県住教育ポータルサイト	住教育プログラム「10分の1の組立模型を使って地震に強い木造の家の仕組みを体験してみよう！」(令和2年度)ぐんま住まいの相談センター https://www.gunma-jkk.or.jp/consultation/report/%E4%BD%8F%E6%95%99%E8%82%B2%E3%83%97%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%83%A9%E3%83%A0%E3%80%8C10%E5%88%86%E3%81%AE1%E3%81%AE7%B5%84%E3%81%BF%E7%AB%8B%E3%81%A6%E6%A8%A1%E5%9E%8B%E3%80%8D/
16 大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会		住教育に関する『無料出前講座』について 私たち大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会は、住教育に関する普及啓発活動を行うため、大阪府の呼びかけで府内の建築関連諸団体が集まって組織された団体です。府内の中学校において、先生に向けた住まいやまちづくりに関する無料の出前講座を実施させていただいております。
17 一般社団法人住教育推進機構	家の話	・住教育とは？ ・住み方の話 ・住教育コラム
18 一般社団法人北海道建築士会	住教育教材(実習用間取りキット) 私らしい住まいの設計～はじめての一人暮らし～	①住教育教材(実習用間取りキット) 私らしい住まいの設計～はじめての一人暮らし～ https://ec.h-ab.com/products/detail/27 ②住教育教材(講義用データ) 私らしい住まいの設計～はじめての一人暮らし～ https://ec.h-ab.com/products/detail/28
19 一般社団法人日本建築学会	地球環境委員会	①地球環境委員会における住環境教育活動の取り組み ライフスタイルと教育小委員会 http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/panel2014.pdf ②家や学校の熱・光・音環境とエネルギーをテーマとした「住環境教育」に取り組んでみませんか?～小中学校の授業や市民講座でつかえるワークショップの実践者育成講座～ http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/2015ws.pdf ③地球環境時代における住教育小委員会 http://news-sv.aij.or.jp/tkankyo/s1/ecobuild.pdf
20 福岡県		①住教育セミナー(福岡県) https://www.facebook.com/fukuoka1019/ ②「実家を空き家にならないために」住教育セミナー(一般社団法人全国古民家再生協会福岡第三支部) https://www.kominka-fukuhoku.org/info/20201024fukuoka
21 株式会社アステック クスジャパン	消費者教育事業 消費者に対し住まいのことを伝える住教育活動を行っています。また近年では空き家の発生抑制について住教育を用い、自治体・自治会と連携して空き家問題に取り組んでいます	住育学校 https://www.1019college.com/
22 一般社団法人 香川県建築士会	【高松支部】住教育プログラム「ユメイエ。」	
23 (公社)かながわ住まいまちづくり協会	香川大学教育学部・妹尾理子教授の監修の下、建築士や障害者の自立支援に携わる方、県職員などが編集に参画。住まいづくりから、安心・安全、福祉のまちづくりなど幅広い観点に渡って、若い世代に対して理解と考察を提供する内容になっています	住教育冊子-私たちの「住まい」と「まち」～身近な住まいとまちづくりについて考えよう～
24 NPO法人「建築・住教育研究会-10分の1組立住宅模型を使った」	本法人は、主に小学生・中学生・高校生が、建築の耐震化の仕組みや省エネの方法を体験的に理解し、その知識を一生持ち続けることのできるような教育方法を研究、実践しそれに伴う事業を行うことを目的にします。	
25 NPO法人灯す屋、有田町地域おこし協力隊		「住教育カードゲームで遊ぼう!」が2019年10月27日(日)に開催されます!
26 一般社団法人 住宅生産団体連合会(一住宅・すまいWeb)	教育とすまい・まち	「このプログラムでは、明日の住生活・まち・生活環境・文化を豊かに創ることのできる資質・能力の育成をめざしています。学校教育だけではなく、建築家や事業者などが社会教育や地域などで活用可能な教育・学習プログラムや授業づくりのヒントが掲載されています。」
27 有限会社 風大地プロダクツ	・住環境教育教材の企画開発・製作・販売、「箱模型実験キット」ほか ・多摩産材のエクステリア製品の企画開発・製作・販売、「木べえさん」「置くだけデッキ」、天然木の雨水タンク「雨びつ」ほか	家模型ワークショップ<工作キット>で自然を生かして快適に住める家を作ろう https://kazedaichi-pro.jp/pdf/iemokei_kousaku.pdf
28 鷲尾 真弓、鈴木 洋子、八木 景子、小林 賢一、相羽 史子	2006年 住総研「住まい・まち学習」実践報告・論文集7	「生きる力」を育てる住教育プログラム-学校・民間・行政の協働でつくる“住”の授業
29 暮らし創造研究会	暮らしの意識・行動研究部会	①省エネ行動の普及に向けたゲーミング・シミュレーションの開発と展開 慶應義塾大学杉浦 淳吉 https://kurashisozo.jp/common/pdf/behavior03_2016.pdf 遊びながら学ぶ省エネ行動トランプ https://kurashisozo.jp/common/pdf/behavior_b.pdf ②省エネ行動教育の普及に向けた教育プログラムの開発と展開 横浜国立大学松葉口 玲子 https://kurashisozo.jp/common/pdf/behavior04_2016.pdf エコな住まい方すくろく https://kurashisozo.jp/common/pdf/behavior_c.pdf
30 みっつデザイン研究所	子どもや一般の人向けに、体感を伴いながら学ぶワークショップの企画や実施をしています。関連して住まいや暮らしを楽しく学ぶ教材の開発にも関わっています。	

表3 メディア・企業・自治体等が提供している健康と住まいに関する情報(続き2)

団体・機関・学校名	概要	サイトで提供されている具体的情報等
31 「社団法人 兵庫県建築士会 住教育支援チーム」		①「すまい学習をサポートします」 http://www.bosai-study.net/2007houkoku/plan10/seika1.pdf ②すまい学習をサポートします～住教育・建築教育の実践集～ http://www.bosai-study.net/2007houkoku/plan10/seika2.pdf
32 山崎教育システム株式会社	住の学習	住生活診断カルテ 240円
33 メガソフト株式会社	本製品は、中学校家庭科「住生活」の授業ですぐに活用できる視覚教材です。生徒の関心や理解を深めやすいように、様々な視覚教材を、3DCGの図や動画、写真で作成しました。先生方の授業計画に沿って、教材を全て使用することも、必要なものを部分的に使用することもできます。また、住生活の授業計画例と教員用解説書も用意しました。	3DCGで学ぶ住生活
34 大和ハウス工業株式会社	住環境教育DVD学習教材「家づくり・街づくりを考える」の制作・配布	「本教材は、小学校高学年から高等学校の生徒に、家づくり・街づくりをはじめ、地球環境や社会、地域などに興味・関心を持ってもらうため制作しました。先生の授業進行に役立つ多様な情報やデータを編集し、教材代は無料で、当社だけでなく教科書会社（東京書籍）の専用ホームページからも取り寄せいただけます。」
35 大阪市立住まい情報センター 企画担当	住まい情報センターオリジナル「住まい学習プログラム」『住まい』と『まちづくり』	
36 東京都消費生活総合センター 活動推進課学習推進担当	住まいの知識は一生の知識～安全で快適な住生活のために～	DVD教材。 高校生を対象に「住環境編」では快適な住生活を営むための基礎知識を実験映像やCGで解説。「賃貸借契約編」ではトラブル事例を基に、契約の流れや支払うお金について解説し、法律の考え方を学習できる動画教材。【全編通し38分】チャプター毎に単独使用可＜住環境編＞通風・換気（9分40秒）日照・採光（3分）災害時の安全（3分15秒）＜賃貸借契約編＞原状回復（6分55秒）契約締結と注意事項（1分40秒）など【付属資料】「補足解説・ワークシート・授業展開例」（PDF資料）をDVD内に収録。本編では問題提示と解説を設け、「主体的・対話的で深い学び」の実現に役立つ教材。

表4 メディア・企業・自治体等による健康と住まいに関するアンケート調査

No.	性別年代別 No. クロス集計 有	室内環境記 載の有無	調査元	タイトル	調査期間	調査対象	回答者数	内容	備考
1			「MyVoice」のアンケートモニター	健康意識に関するアンケート調査（第7回）	2023年10月01日～10月05日	【回答者数】9,985名		1健康に気を付けている度合、2健康の維持・増進のために取り組んでいる分野、3健康の維持・促進のためにやっていること等	
2	◎		明治安田生命	「健康」に関するアンケート調査	2023年7月11日～7月18日	20代から70代までの男女	5640人	1、コロナ5類移行に伴う社会の変化と健康について…（1）健康に対する意識の変化（2）体重の変化（3）ストレスの変化2、*物価高が健康づくりに与える影響について3、「健康投資」（健康増進に向けた自己投資）について	
3	○		北海道石狩市	石狩市健康づくり計画 健康意識に関するアンケートの集計結果	2023年5月25日～6月18日	20歳から69歳までの市民。無作為抽出	2,000人	市民の健康を支える環境づくりを推進するための「石狩市健康づくり計画（H28～R5）」の最終評価の実施に伴い、日頃の生活習慣や健康に関する意識について調査し、次期計画策定に活用するものとする。 1 あなたご自身のこと Ⅱ あなたの生活習慣等Ⅲ あなたの「健康診査」の受診状況Ⅳ あなたの「がん検診」の受診状況等	
4	○		TOPPAN	<住宅タイプ別>生活者のリアルな健康意識や記録に関するアンケート調査 レポート大公開！【前編】	2023.3.10～2023.3.12	25-69歳男女、世帯年収300万円以上	1,428名	■回答したユーザーはどんな人？ ■健康意識が高いのはどんな層？健康・美容に関する行動や価値観 ■自分と家族が抱えている健康課題は？ ■健康課題に対してどのくらいお金をかけられる？	
5	○		TOPPAN	<住宅タイプ別>生活者のリアルな健康意識や記録に関するアンケート調査 レポート大公開！【後編】	2023.3.10～2023.3.12	25-69歳男女、世帯年収300万円以上	1,428名	■健康を意識するシーンは？ ■健康改善のために行ったことは？ 自身の健康改善のために行ったこと ■健康の記録に関する実態 年取別 住まい×家族形態別 ■健康を記録している理由は？ ■健康の記録の継続期間と頻度は？ 健康状態の記録継続期間 健康状態の記録頻度 過去記録していたが、離脱した人の離脱理由	
6			ITICKET TV (アイチケットTV) エムスリーソリューションズ株式会社	「40～60代の健康意識」に関するアンケート	2022年3月	30代～60代の男女	999名	性別、年代、体調の変化、どのような変化、体調の変化を改善等	
7	◎		大阪がん循環器病予防センター	「インターネットアンケートによる大阪府民の健康意識調査」報告書（令和2年度）	2020年度	男女合計（15～79歳）	2,006人	1.回答者情報 2.ヘルスリテラシー 3.身体活動・運動 4.喫煙 5.歯と口の健康 6.こころの健康 7.食育推進計画 8.けんしん	
8			小栗玉市	令和3年度第1回ネットモニターアンケート結果（健康意識や健康教育に関するニーズ調査）	令和3年6月25日～7月6日まで	おみたまネットモニター登録者 179人中回答128人	128人	自身について、健康のために生活習慣の見直し・改善、健康生活の維持のために現在取り組んでいること、等	
9	○		吹田市	健康に関する市民意識アンケート調査 2019結果報告書	令和元年（2019年）11月12日から令和元年12月3日	中学卒業以上の市民 （1）一般市民対象調査：中学卒業以上の市民 配布数2,000通 （2）保護者対象調査：2歳以上中学生以下の子供の保護者 配布数1,000通	(1) 有効回答数 927通 (2) 有効回答数 549通	(1) 回答者属性 (2) 食生活等について (3) 喫煙状況等について (4) 日頃の運動の状況等について (5) 心身の健康について (6) 歯の健康等について (7) お酒を飲む機会等について (8) 検診や医療機関の受診状況等について等	
10	◎		須坂市	健康意識に関するアンケート調査 調査結果報告書	2022年（令和4年）11月27日から12月14日	須坂市在住の18歳以上69歳までの方を無作為抽出 配布数 2,000通	有効回答数 928通	I 回答者属性 II 健康状態・健康管理について III 歯・口腔の健康について IV 栄養・食生活について V 身体活動・運動について VI アルコールについて VII たばこについて VIII 休養・こころの健康について IX 新型コロナウイルス感染症の影響について	
11	○		秋田市	市民健康意識調査アンケート	令和3年11月30日～令和3年12月31日	住民基本台帳に登録されている0歳以上の市民から、無作為抽出された4,500人	回答数 2,288人	健康状態と健康意識について 食生活について 運動習慣について がん検診について 歯・口腔の健康について 休養・こころの健康について お酒について たばこについて 健康づくりに関する要望	
12	◎		長浜市	「健康ながま21」に関するアンケート調査結果報告書	令和5年1月～2月	令和5年1月1日現在、16歳以上の市民 3,000人を無作為抽出	1,100件	1家族構成、生活状況、人との交流等について 2食事について 3運動について 4喫煙について 5飲酒について 6歯科について 7健康管理について 8心と休養について 9自発予防について 10地域医療に関する事について 11しょうがい福祉に関する事について	

表 4 メディア・企業・自治体等による健康と住まいに関するアンケート調査(続き 1)

No.	性別年代別 クロス集計 有	国内掲載記 載の有無	調査元	タイトル	調査期間	調査対象	回答者数	内容	備考
13	○		国分グループ本社株式会社	「健康と食、栄養に関する調査」	2022年6月21日～7月1日	ネット調査会員、ぐるっば会員	2,808人	・食品成分表示で気になる項目は？・健康を意識して食べている食材は？ ・保有している基礎調味料の種類は？・消費者が気になる栄養素は？ ・コロナ禍で気をつけている生活習慣は？・食事の準備工程は？ ・減塩志向の人、食物繊維を積極的にとりたい人は食材や保存調味料にも特徴がある？・ ダイエットでは実際にどのようなことをしている？	
14	◎		熊本県健康福祉部健康局健康づくり推進課	令和4年度健康づくりに関する県民意識調査報告書	令和4年11月15日～30日	熊本県に居住する満20歳以上の男女 配布件数4,500件	2,108件	属性：性別、年齢、職業、居住地域、世帯構成、健康感 内容：①運動・身体活動 ②食生活 ③ストレス・休養 ④喫煙⑤飲酒⑥歯と口腔 ⑦健診・がん検診 ⑧糖尿病⑨新型コロナウイルス感染症流行の影響	
15	◎		江南市	「健康に関する市民アンケート調査」調査結果報告書	令和4年11月4日～11月30日	江南市全体 16歳以上の市民 配布数2,000件 中学生 市内中学校の3年生配布数534件 市内小学校の6年生配布数517件	有効回収数一般820件 中学生423件 小学生482件 合計1,725件	基本設問（あなた自身について）、健康全般について、食生活について、運動について、休養・こころの健康について、悩みやストレスについて、つらいときについて、毎日の生活について、たばこについて、アルコールについて、歯の健康について、行政の取り組み等について	
16	◎		横浜市健康福祉局保健事業課 横浜市衛生研究所	令和2年度 健康に関する市民意識調査	(1) 令和3年1月15日～令和3年1月25日 (2) 令和3年1月15日～令和3年1月31日	(1) 横浜市に居住している20～59歳の男女 (2) 横浜市に居住している60～69歳の男女	(1) 10,981人 (2) 1,493人 合計 12,474人	1健康管理 2新型コロナウイルス感染症の関連 3健診・がん検診 4食生活 5運動習慣 6タバコ 7飲酒 8睡眠 9歯・口の健康 10健康を維持するための災害時の備え 11地域とのつながり	
17	◎		千葉県健康福祉部健康づくり支援課	令和3年度生活習慣に関するアンケート調査結果	令和3年10月25日～令和3年11月14日	層化無作為により抽出した千葉県内在住の満15歳以上の男女16,000人(男性8,000人、女性8,000人)	回収数 6,103人 有効回答数 5,957人 (回収率 37.2%・男性2,692人、女性3,265人)	(1)あなたの健康、(2)栄養・食生活、(3)身体活動・運動、(4)地域のつながり、(5)休養・こころの健康づくり、(6)たばこ、(7)お酒(アルコール)、(8)歯、(9)がん検診、(10)健康診断、(11)病気、(12)健康に関する情報、(13)受診履歴の防止	
18	○		平塚市	令和4年度平塚市民の健康意識及び食育推進のためのアンケート調査結果報告書	2023年1月16日～2月10日	平塚市全域 住民基本台帳に基づき無作為抽出 3,000人	1,060人	あなた自身について、食生活について、運動習慣について、睡眠と休養について、飲酒について、喫煙について、歯の衛生について、健康診断について、食育について	
19	◎		静岡県健康福祉分健局健康政策課	令和4年度健康に関する県民意識調査報告書	令和4年12月19日～令和5年1月20日	静岡県全域を母集団とし、選挙人名簿より6,000人を層化無作為抽出	2,641票	(1) 食生活について (2) 身体活動・運動について (3) 休養・こころの健康について (4) 歯の健康について (5) たばこについて (6) 健康状況等について	
20	◎		高松市	令和4年度 高松市民の健康づくりに関する調査結果	令和4年6月22日～7月19日	住民基本台帳を基に令和4年5月1日現在、18歳以上の市民の中から、無作為抽出した男女3,000人	1176人	(1)基本情報(性別、年齢等)について(2)健康状態(健康上の問題点等)について(3)生活状況(健康づくりのための生活習慣等)について(4)地域活動(近所づきあいに関する意識)について(5)新型コロナウイルス感染症に伴う影響や健康意識等について	
21	◎		墨田区	「健康」に関する区民アンケート調査結果報告書	令和元年11月1日～11月22日	墨田区在住の20歳以上の男女(以下、「一般区民調査」) 標本数：2,000人	882人	回答者自身について、健康状態や意識について、食生活・栄養について、身体を動かすことについて、たばこについて、飲酒について、健康の自己管理について、歯の健康について、感染症予防について、地域活動について、子どもの健康について、健康づくりに関する意見行政への要望について	
22	◎		ネットエッジ株式会社	「健康に関する意識調査」	2022年3月15日～3月16日	ネットエッジアサチのモニター会員を母集団とする20歳～69歳の男女	1,000名	健康に関する意識・実態、勤務先で行われる健康管理に関する意識・実態	
23			株式会社 Qlife	【健康ハートワーク特別企画】ミドル世代の健康意識を明らかに～	2022年7月29日～8月1日	35～54歳男女(健康診断や人間ドックで「生活習慣病」「生活習慣病予備軍」と指摘を受けている、または健康診断未受診で、健康・美容を意識して取り組んでいることをSNSに投稿することがある方)を対象	176名(男性)	健康・美容を意識して取り組んでいること、SNSに投稿する取り組みを始めたきっかけ、SNSに投稿する現在のモチベーション、SNSに投稿する取り組みで投稿以外に行っていること、健診等で「生活習慣病・生活習慣病予備軍」と指摘されても受診しなかった理由、	
24	○		フォーネスライフ株式会社	「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う健康意識の変化」	2021年6月15日～2021年6月21日	20～69歳男女 ①スクリーニング74,905s ②本調査2,074s	①スクリーニング 74,905s ②本調査 2,074s	■コロナ前後の健康意識変化■コロナ前後の意識変化(高性別)■コロナ後の健康行動■ヘルスケア関連サービス利用者の満足点・ニーズ■ヘルスケア関連サービス利用後のアクション	
25	◎		日清オイログループ株式会社	「20 健康と食に関する意識調査」	2020年10月6日～8日	20～70代の男女	n=2000(性)	性別年代別の意識の違いや、過去調査との意識の変化などを分析 ・食事の時の健康意識・運動・ストレスなど	
26	◎		旭川市	令和4年度健康日本21旭川計画アンケート調査結果報告書	令和4年6月6日～令和4年7月4日	満20歳以上の旭川市民2,800人(男女各1,400人) 令和4年5月31日現在の住民基本台帳から無作為抽出	1017票	A 回答者の属性について B 健康意識等全般について C 栄養・食生活について D 身体活動・運動について E 休養・心の健康づくり・アルコールについて F 歯の健康について G 健康チェック たばこについて	
27	○		株式会社ロイヤリティマーケティング	「健康と食に関する調査」	2022年3月4日～3月8日	「Pontaリサーチ」会員国内在住20～60代の方	2,000名	▼食生活における健康意識▼健康のために食生活で意識していること/意識したいができていないこと▼食生活における悩み▼健康を意識して食べているもの/今後食べたいもの▼健康を意識して摂取している成分/摂取したいが摂取できていない成分	
28	◎		日本政策金融公庫 農林水産事業	「消費者動向調査(令和3年7月調査)」	令和3年7月	全国の20歳代～70歳代の男女2,000人(男女各1,000人)	調査対象：全国の20歳代～70歳代の男女 2,000人(男女各1,000人) 回答者数は記載なし。	1. 食に関する志向 II. 国産品かどうかを気にかけるかな	
29	◎	◎ 備考参照		世田谷区民の健康づくりに関する調査報告書	令和2年9月17日から令和2年10月5日	区内在住の20歳以上の男女4,000人を無作為に抽出	2,045人	(1) 回答者属性 (2) 健康状態や意識について (3) 食生活について (4) 身体活動・運動について (5) 休養、こころの健康について (6) 飲酒について (7) 喫煙について (8) 口と歯の健康について (9) 健康診断について (10) 地域活動や防災等について (11) 生活環境について (12) 食品衛生について (13) 感染症予防について (14) 健康させたがやプランについて	P210～ 問 55 あなたのお住まいで気になることがありますが、 問 56 あなたは、どのようなときに換気していますか。 問 57 室内の換気をするために、窓や換気扇と
30	◎		MSD株式会社	全国健康意識・実態調査	2019年12月18日-12月24日	47都道府県×性別×年代(30代/40代/50代/60代)別にそれぞれ30サンプル	11,280名	i.健康に対する意識・考え方 ii.健康診断の実診状況と受診のバリエーション iii.病気の予防の実践状況と予防のバリエーション iv.かかりつけ医の有無と利用のバリエーション v.お薬手帳の活用状況と活用バリエーション vi.健康情報に関する情報の入手経路/自らの発信状況 vii.自治体が提供する健康・医療サービスの認知/活用状況 viii.医療費負担に対する考え方	

表 4 メディア・企業・自治体等による健康と住まいに関するアンケート調査(続き 2)

No.	性別年代別 クロス集計 表の有無	市内掲載記 載の有無	調査元	タイトル	調査期間	調査対象	回答者数	内容	備考
31	○		仙台市	令和3年度(仙台市民の健康意識等に関する調査)(事業所・公共の場における健康意識調査)(思春期の健康づくり意識調査) 【報告書】	令和3年9月3日~令和3年9月30日	仙台市在住の満20歳以上の男女 住民基本台帳より男女比・年齢構成・居住区等を考慮の上無作為抽出	■仙台市民の健康意識等に関する調査 2,752件 ■事業所・公共の場における健康意識調査 事業所: 1,255件 公共の場: 1,655件 ■思春期の健康づくり意識調査 合計 929人	1 回答者の属性について 2 健康意識・健康管理について 3 栄養・食生活について 4 食育について 5 身体活動・運動について 6 休養・こころの健康について 7 たばこについて 8 アルコールについて 9 歯と口の健康について 10 社会参加・地域とのつながりについて 11 新型コロナウイルス感染症の影響について	
32	○		岡山県	令和5年度県民満足度調査同時調査 調査結果報告書(県民の健康状態について)	令和5年5月31日~6月15日	岡山県内市町村在住の18歳以上の男女(令和5年4月1日現在) 2,500人	1,165人	1 あなた自身について 2 県民の健康状態等について ・健康上の問題による日常生活への影響の有無・普段、健康に気を付けていること・喫煙状況・受動喫煙状況・過去1年間における健診等の受診の有無・健診等を受診しなかった理由	
33	○		調布市	調布市の健康づくりに関する意識調査報告書 概要版	令和4年10月5日~10月26日	住民基本台帳から無作為抽出による20歳以上の男女4,000人	成人調査 1,528件	1 栄養・食生活 2 飲酒 3 たばこ 4 口と歯 5 運動 6 睡眠 7 の心の健康 8 日頃の健康管理 9 が10 属性 11 自由意見	
34	○	○ ⇒備考参照	尼崎市	尼崎市健康づくりアンケート調査 結果報告書	令和4年11月22日~令和4年12月16日	市内にお住まいの18歳以上の男女3,000人(無作為抽出)	914人	○回答者の属性 ○健康についての関心や知識などについて ○身長・体重について ○現在の健康状態などについて ○健康診断などについて ○がん検診などについて ○栄養・食生活習慣について ○お口の健康について ○運動習慣について ○たばこについて ○飲酒について ○休養・こころの健康について ○新型コロナウイルス感染症による変化や行政に望むことなどについて ○自殺対策について	P93~ 問51-4周りに受動喫煙をさせないように気をつけていますか。 問56あなたの職場では、禁煙や分煙がされていますか。
35	○		芦屋市	第9次芦屋すこやか長寿プラン2-1策定に向けたアンケート調査報告書	令和2年1月31日~2月14日	令和2年1月1日現在で、市内在住の65歳以上の高齢者(一般高齢者。事業対象者、要支援認定者)の中から無作為抽出(要介護認定者を除く)	介護予防・日常生活圏ニーズ調査 有効票数 2,209 在宅介護実態調査 有効票数 1,179	Ⅱ-1 介護予防・日常生活圏ニーズ調査 Ⅱ-2 生活機能評価等に関する分析 Ⅱ-3 在宅介護実態調査	
36	○		群馬県	保健医療に関する意識調査(県民アンケート調査)報告書	令和5年2月	群馬県全域(10保健医療圏)満18歳以上男女個人層化二段無作為抽出法	1,632	1 健康状態 2 健康に対する不安 3 健康づくり 4 地域医療について 5 医療機関の選択 6 救急医療への対応 7 かかりつけ医師 8 かかりつけ歯科医 9 歯科保健医療者 10 薬局について 11 転院について 12 退院について 13 在宅医療について 14 精神保健について 15 医療機関への要望 16 保健医療情報について 17 自分のカルテや症状等の情報を医療機関同士で共有することについて	
37	○	○ ⇒備考参照	横浜市	令和4年度健康についてのアンケート調査 調査結果報告書	令和4年10月5日~11月2日	20歳以上74歳以下の市民 無作為抽出	1,346件	あなたご自身のことについて、食生活について、飲酒について、身体活動・運動について、休養・こころの健康・自殺対策について、歯の健康について、タバコについて、状況等について、	問35 あなたは、この1ヶ月間に自分以外の人が吸ったタバコの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。
38	○	○ ⇒備考参照	富士市	令和元年度富士市市民健康意識調査 調査結果報告書	令和元年11月5日から11月26日	富士市内在住の12歳から74歳までの男女を無作為抽出	有効回収数 1,843通	1 回答者属性 2 体型について 3 食生活について 4 健康診断について 5 飲酒とたばこ等について 6 生活活動・運動状況について 7 歯の健康について 8 睡眠や休養、こころの健康について 9 社会活動について 10 健康状態と健康づくり等について	P41~ 問21 この1ヶ月間に、自分以外の人が吸っていたタバコの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。
39	○		西東京市	「市民の健康に関するアンケート調査」	平成23年10月24日~11月24日	市内に住む20歳以上の5,000人を無作為に抽出	成人調査 2,164件	(1) 健康把握 (2) 食・栄養 (3) 運動・スポーツ (4) こころ・休養 (5) 学び・創造	
40	○	○ ⇒備考参照	文京区	文京区健康に関するニーズ調査報告書	令和4年10月3日~10月24日	18歳以上89歳以下の文京区在住者 住民基本台帳からの無作為抽出	1,939人	1.回答者属性 2.健康意識について 3.健康管理について 4.体重管理について 5.運動について 6.食生活・食育について 7.睡眠・ストレスについて 8.こころの健康について 9.たばこについて 10.アルコールについて 11.歯と口腔について 12.受動喫煙について 13.新型コロナウイルス感染症について 14.地域とのつながりについて 15.公衆浴場(銭湯)について 16.区の高齢者について	★市内環境関連設問 問30「慢性閉塞性肺疾患(COPD)は喫煙などにより有害な粒子やガスを取りこむことによって起こる進行性の病気。肺の生活習慣病といわれ、咳や痰、息切れなどの症状が出て、重症化するなど酸素吸入が必要になる。」あなたはこの内容を知っていましたか。 問42 あなたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のためにやっていることは何ですか。
41	○		長崎市	令和4年度 市民健康意識調査の結果	令和4年7月~令和4年9月	20歳から84歳までの3,300人 対象者を年齢別(5歳きざみ)、男女別に層化無作為抽出	有効回答者数 936人	回答者について、栄養・食生活について、歯・口腔の健康について、身体活動・運動について、こころの健康について、禁煙について、健康チェックについて (1) 回答者の基本属性に関する設問 (2) 健康状態・意識に関する設問 (3) 食生活に関する設問 (4) 生活習慣(運動・飲酒・喫煙)に関する設問 (5) 口の健康に関する設問 (6) ストレス・健康危機への対応に関する設問 (7) 新型コロナウイルス感染症による生活の変化に関する設問 (8) その他、自由記述欄	P107 問39 他人のたばこの煙(受動喫煙)が健康に与える影響について、どう思いますか。
42	○	○ ⇒備考参照	兵庫県健康福祉部	令和3年度健康づくり実態調査報告書(成人)	令和3年11月15日~令和3年12月15日	県内に居住する20歳以上の男女、5,000人	有効回答数 1,863件	(1) 回答者属性 2.健康状況や健康づくり全般について 3.栄養・食生活について 4.身体活動・運動について 5.睡眠と休養について 6.歯の健康について 7.たばこについて 8.アルコールについて 9.生活習慣病について 10.こころの健康について 11.健康状況や健康づくりのご意見等について	P151 VII たばこについて
43	○	○ ⇒備考参照	鹿児島県鹿屋市	第3次鹿屋市健康づくり計画策定にかかるアンケート調査結果報告書	令和4年12月	市内在住の満19歳以上の方より無作為抽出	1,034件(郵送回信) 280件(WEB回答) 合計 1,314件	①健康状況について ②栄養・食生活について ③生活習慣病について ④身体活動・運動について ⑤休養・こころの健康について ⑥喫煙について ⑦飲酒について ⑧歯・口腔の健康について ⑨健康を支え、守るための社会環境の整備について ⑩健康づくりについて ⑪健診(検診)の受診について	P35 問18 あなたは、この1か月間に、自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。
44	○	○ ⇒備考参照	山口県	令和4年度「健康づくりに関する県民意識調査」報告書	令和4年8月1日~8月31日	山口県内に在住する20歳~79歳の男女	8,932人	①健康状況について ②栄養・食生活について ③生活習慣病について ④身体活動・運動について ⑤休養・こころの健康について ⑥喫煙について ⑦飲酒について ⑧歯・口腔の健康について ⑨健康を支え、守るための社会環境の整備について ⑩健康づくりについて ⑪健診(検診)の受診について	P73~ 問43: あなたは、この1ヶ月間に、自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。
45	○		釜石市	特定健康診査に関するアンケート調査 結果報告書	令和4年1月25日から2月22日	釜石市国民健康保険に加入している40~74歳の被保険者のうち令和3年度の特定健診が未受診者であった方	341件	あなた自身について、今年度健診を受診しなかった理由はなぜですか?、どうすれば健診を受けやすくなりますか、あなたの健康状態の把握方法、現在服用している薬について、食生活について、運動習慣について	
46	○	○ ⇒備考参照	小平市	小平市民の健康に関する意識調査報告書	令和3年9月17日から令和3年10月22日まで	18歳以上の市民2,000人	851件	(1) あなた自身のことについて (2) 健康に関する意識について (3) 食生活について (4) 運動について (5) 休養やこころの健康について (6) 喫煙について (7) 飲酒について (8) 歯と口の健康について (9) 地域とのつながりについて (10) がん対策について (11) 各種健診事業等について (12) 新型コロナウイルス感染症の影響について (13) 市の保健事業等について (14) 自由記述(抜粋) (15) クロス集計表	

表 4 メディア・企業・自治体等による健康と住まいに関するアンケート調査(続き 3)

No.	性別年代別 クロス集計 表	室内環境記 載の有無	調査元	タイトル	調査期間	調査対象	回答者数	内容	備考
47	◎		中野区	令和4年度健康福祉に関する意識調査	令和4年9月20日～10月11日	満18歳以上の区民 無作為抽出	980件	健康感、運動習慣、健康診断、食生活、歯科検診、薬局、等について	
48	○		瑞穂市	瑞穂市健康増進計画策定のためのアンケート調査 結果報告書	令和2年3月14日～3月26日	16歳以上市民	926人	(1) 回答者の属性について (2) 生活状況について (3) 健康意識・健康診断について (4) 食生活・運動習慣について (5) 休養・睡眠について (6) 心の病気について (7) お酒・たばこについて	
49	◎		三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	【健康経営とフェムテック】「正社員男女の健康意識に関する実態調査」	2021年11月19日～2021年11月22日	全国の20歳～69歳の正社員男女2,000人	男女各1,000人	▶ 回答者属性・業種、職種、役職、会社規模、女性従業員比率、世帯構成、勤務時間や休暇の取得しやすさ、リモートワークの状況 ▶ 自身の健康状態 ▶ 健康を維持に向け会社に求める支援 ▶ 特に、女性の健康状態における課題と会社に求める支援	
50	◎	⇒備考参照	芳賀町	令和4年度芳賀町健康に関するアンケート調査結果報告書	令和4年9月1日～9月15日	町内にお住まいの20～79歳の男女	660件	1.あなた自身のことについて2.身体活動・運動について3.休養・こころの健康について4.喫煙・飲酒について5.栄養・食生活について6.食育について7.歯のことについて8.健康づくり全般について	P72 問1 7 自分以外の方が吸っているたばこの煙を吸う機会がありますか。
51	未集計	未集計	糸島市	企業における健康づくり実態調査	令和5年10月1日～令和5年11月15日	糸島市内の事業所約400社(2000名)注)対象となる事業所には郵送にてアンケートをお送りしています。		事業主、健康事業担当者用⇒問1 事業所について 問2 健康づくりの取り組み状況 問3 事業主への質問 個人用⇒問1 あなた自身のこと 問2 あなたの健康観・価値観 問3 健康状態について 問4 運動について 問5 食事について 問6 あなたの歯について 問7 休生活について 問8 健康ツールについて 問9 市の新しい健康づくり事業を創り出すためのアイデア	
52	△(一部)		和歌山県	コロナ禍における健康に関するアンケート調査結果	令和2年12月9日～12月14日	和歌山県民(20歳以上)のうち、NTTF コモのdポイントクラブ会員	5,000人	①健康面(栄養・運動、喫煙等)での意識の変化 ②現在行っている運動 ③コロナ禍で増えたもの(間食、喫煙、飲酒、体重等) ④不安・ストレス ⑤現在の体調 ⑥特定健診、がん検診、人間ドック等の受診状況 ⑦特定健診、がん検診等を前年受診していない理由 ⑧コロナ禍で医療機関を受診することをどう思うか ⑨現在の医療機関(歯科以外)の受診状況 ⑩現在の歯科医師の受診状況	
53	◎		函館市	健康づくりに関するアンケート調査結果 ○令和3年度市民の健康意識・生活習慣アンケート調査(郵送) ○令和3年度市民の健康意識・生活習慣アンケート調査(郵送) ○令和3年度函館市健康づくりWebアンケート(Web) ○令和3年度市民の健康意識・生活習慣アンケート調査(郵送)	令和3年1月29日(月)～12月24日(金) 令和3年3年度函館市健康づくりWebアンケート(Web) 調査期間 令和3年1月27日(月)～令和4年1月31日(月)	函館市民、20歳以上 ○合計回答数 1,402件(男性637件[45%], 女性750件[53%], その他15件[2%])	1,402件	1性別 2年齢 3居住地 4職業 5あなたの身長・体重 6階段、健康面で心がけていること 7体重を測ることがあるか 8病院や健診などで血圧が高いと指摘されたことがあるか 9血圧を測ることがあるか 10血圧を下げる効果があるもので、正しいものはどれか 11血圧を下げる効果があるもので、正しいものはどれか 12血圧を下げる効果があるもので、正しいものはどれか 13過去1年で健康診断(人間ドックを含む)やがん検診を受けたか 14 健康診断やがん検診を受けていない理由は何ですか 15 過去1年で歯科の受診や歯科検診、歯みがき指導を受けたか 16 歯を磨く頻度はどのくらいですか 17 入れ歯を使っているか 18 食事をかんで食べる時の状態はどのくらいですか 19 朝食を食べるか 20 主食、主菜、副菜の3つを組み合わせて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日あるか 21 野菜を1日どのくらい食べるか 22 食塩(塩分)摂取を控えるようにしているか 23 塩分の多い食材(漬物、梅干し、佃煮、たらこ、筋子、いくら、塩辛、松前漬等)は食べるか 24 飲食店での食事や持ち帰りの弁当(テイクアウト)や惣菜をどのくらい利用しているか 25 お菓子や菓子パンを食べる、ジュース(甘い缶コーヒーを含む)やスポーツドリンクを飲む頻度はどのくらいですか 26 あなたの健康的な食習慣の妨げになっていることは何か 27 お酒は飲むか 28 お酒は清酒に換算してどのくらい飲むか(1つに○) 29 日常生活の中で室内の家事や移動、散歩等を含めて、1日何分くらい歩いていますか 30 運動についてどのよう考えているか 31 運動の妨げになっていることは何か 32 運動を始めたきっかけは何か 33 いつもとっている睡眠で休養が十分にとれているか 34 あなたの睡眠の妨げになっていることは何かと思うか 35 現在、たばこ(加熱たばこを含む)を吸うか 36 たばこをやめたと思うか 37 普段からスマートフォンを利用しているか	
54	◎	⇒備考参照	静岡市	健康・食育に関する意識・生活アンケート調査概要報告書(令和4年度)	令和4年7月4日～令和4年7月27日	静岡市内在住の男女 ◆1～3歳調査1,100人 保護者が記入 ◆4～12歳調査(小学生まで)1,250人 保護者が記入 ◆12～19歳調査(中学生から)2,000人 本人が記入 ◆20～64歳調査1,750人 本人が記入 ◆65～84歳調査1,200人 本人が記入、合計7,300人	3,175人	食生活、体型・運動、生活・健康感、健診、こころ、妊娠・子育て、タバコ、歯・口、コロナウイルス感染症の流行と生活の変化、食育	P13 あなたは過去1年間で受動喫煙にありましたか。
55	○	⇒備考参照	板橋区	区民健康意識調査	平成30年7月30日から平成30年8月31日	20歳～86歳までの区民3000人(成年期・シニア期別・男女別均等、居住地域人口別按分の無作為抽出)	1,213人	1. 調査回答者の性別 2. 調査回答者の年代 3. 現在(1か月間)の喫煙状況 4. 喫煙者の年代 5. 吸っているたばこの種類 6. 加熱たばこを選んだ理由 7. 喫煙者(毎日・時々)の受動喫煙防止のための取り組み状況 8. 受動喫煙防止に「取り組んでいない」喫煙者の理由 9. 1か月間に受動喫煙にあった経験 10. 受動喫煙によるがん・脳卒中・心臓病のリスクの認知度 11. 受動喫煙による乳幼児突然死症候群(SIDS)や胎児への悪影響やリスクの認知度 12. 「東京都子どもを喫煙者から守る条例」の認知度 13. 子どもを喫煙者から守る取り組みの状況 14. 子どもを喫煙者から守る取り組みをしていると回答した人の取り組み内容 15. 行政機関の庁舎の敷地内に喫煙所を設けることの賛否 16. 公園に喫煙所を設けることの賛否 17. 駅前喫煙所を設けることの賛否	7. 喫煙者(毎日・時々)の受動喫煙防止のための取り組み状況 8. 受動喫煙防止に「取り組んでいない」喫煙者の理由 9. 1か月間に受動喫煙にあった経験 10. 受動喫煙によるがん・脳卒中・心臓病のリスクの認知度 11. 受動喫煙による乳幼児突然死症候群(SIDS)や胎児への悪影響やリスクの認知度 12. 「東京都子どもを喫煙者から守る条例」の認知度 13. 子どもを喫煙者から守る取り組みの状況 14. 子どもを喫煙者から守る取り組みをしていると回答した人の取り組み内容 15. 行政機関の庁舎の敷地内に喫煙所を設けることの賛否 16. 公園に喫煙所を設けることの賛否 17. 駅前喫煙所を設けることの賛否
56	◎	⇒備考参照	大阪府	大阪府健康づくり実態調査	令和5年1月31日から令和5年2月28日まで(延長)	府内に居住する20歳以上の男女 13,200人	2,846人	(1) 性別、年齢、居住地、就業・就学状況 (2) 運動に関する事項 (3) 食及び栄養に関する事項 (4) 睡眠に関する事項 (5) 飲酒及び喫煙に関する事項 (6) 歯及び口腔に関する事項 (7) 健康診断に関する事項 (8) コミュニティとのつながりに関する事項 (9) その他、健康づくりに関する事項	P27 図表 27. 受動喫煙の機会を有する者
57	○	⇒備考参照	花巻市	健康づくりに関するアンケート調査結果報告書(令和2年11月)	○調査票発送日: 令和2年8月31日(月) ○調査票回収期限: 令和2年9月15日(火)	花巻市内在住の19歳以上の市民2,300人(無作為抽出)	1,144票	I あなたの現在の状況 II 「健康管理」について III 「食生活」について IV 「食育」について V 「運動習慣・身体活動」について VI 「こころの健康」について VII 「たばこ」について VIII 「お口の健康」について IX 「保健事業」について X 「地域医療」について	P35- 問50 たばこを吸っている方にお伺いします。喫煙するときに気をつけていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。 問51 たばこを吸わない方にお伺いします。喫煙する人に気をつけてほしいことはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

表 4 メディア・企業・自治体等による健康と住まいに関するアンケート調査(続き 5)

No.	性別年代別 クロス集計 有	室内環境記 載の有無	調査元	タイトル	調査期間	調査対象	回答者数	内容	備考
74	○ ⇒備考参 照	○	大洲市	大洲市長の健康に関するアンケート調査	令和3年5月20日～6月4日	20歳以上の市民(住民基本台帳より無作為抽出)	1,786票	1基本情報 2健康状態 3幸福度 4食生活及び栄養に関すること 5こころと体の健康と睡眠及び休養に関すること 6運動及び身体活動に関すること 7禁煙・分煙に関すること 8病気の予防、早期発見及び早期治療に関すること 9地域交流及び生きがいづくりに関すること 10施設や社会環境整備に関すること	P32 設問23:大洲市で分煙ができていないと思う場所がありますか。
75	○ ⇒備考参 照	○	玉村町	健康づくりと食育に関するアンケート調査	令和3年4月～5月	玉村町に居住する20歳から65歳の男女個人(令和3年3月1日時点)	384人	1.健康について2.食生活について3.休養・心の健康について4.歯と口の健康について5.酒、たばこについて6.生活習慣病、がんについて7.身体活動(運動、行動)について8.健康づくりについての要望	P51 問44-2あなたは、たばこを吸うときに分煙するなど、周りの人に配慮していますか。
76	○		鈴鹿市	鈴鹿市健康づくりにかかるアンケート調査	平成30年10月から平成31年12月	市内在住の18歳以上の男女2,000人の方を無作為に抽出	856通	1 回答者属性 2 健康状態や意識について 3 健康管理について 4 睡眠・休養や心の健康について 5 食生活について 6 運動について 7 生きがいや社会参加について 8 たばこやお酒のことについて 9 歯の健康について 10 お住まいの地域の健康づくりに必要な環境について 11 全般的な評価	
77	○ ⇒備考参 照	○	茅ヶ崎市	茅ヶ崎市「食育・健康づくり」に関するアンケート調査	令和元年11月～令和元年12月	茅ヶ崎市全域①15～18歳・・・500人②19歳以上・・・5,000人	15歳以上 2,435人	1 健康づくりについて 2 食生活について 3 身体活動・運動について 4 休養・こころの健康について 5 たばこについて 6 アルコールについて 7 歯・口腔の健康について 8 健康管理について 9 地域活動について 10 自由意見	P72 問28 あなたはたばこの有害性や影響について、どのようなことを知っていますか。 P175～
78	○ ⇒備考参 照	○	豊中市	豊中市食と健康に関するアンケート調査	令和4年10月1日～令和4年10月28日	③青年期以降年代別調査(16～29歳、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代、80歳以上)	③青年期以降 2,509人	2 食生活・食育について 3 健康への取り組みについて 4 社会生活について 5 喫煙習慣、受動喫煙について 6 アルコール習慣について 7 歯や口の健康について 8 こころの健康について 9 健康状態について	問34この1か月間に、望まずに自分以外の人が吸っていたたばこの煙を吸う機会(受動喫煙)がありましたか。 問34-1 受動喫煙の機会があった場所を教えてください。
79	○ ⇒備考参 照	○	守山市	第2次健康もりやま2.1に関する市民アンケート調査	令和4年8月5日から9月2日まで	市内在住の満15歳以上満75歳未満の方の中から2,000人(無作為抽出)	639件	回答者属性、健康づくりの取組について、自身の健康状態や健康管理について、歯と口腔の健康について、食生活について、アルコールやたばこについて、運動やスポーツについて、休養や心の健康づくりについて、生きがい活動について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について	P86～ ⑤受動喫煙の健康への影響の認識(問6-7) ⑦たばこ対策で今後充実を望むこと(問6-9)
80	○ ⇒備考参 照	○	小牧市	小牧市健康づくりに関するアンケート調査	2023年2月1日～2月28日	①一般市民調査 小牧市在住もしくは小牧市内で勤務している人	①一般市民 調査 1,768件	・自身について・日常の食生活について・歯の健康について・運動体力維持の取り組みについて・たばこアルコールについて・心の健康づくりについて・その他	P22～ ②家庭(建物)内で禁煙、分煙について(問25-1) ④受動喫煙の影響について(問27)
81	○		水戸市	健康づくりに関するアンケート調査	令和4年8月16日～9月15日	圏域に住む満18歳から満75歳までの男女個人・年齢階層別の層化無作為抽出	1,155名	・健康意識・運動・食事・歯・健康診査・がん検診	
82			鳩山町	まめで健康2.1プラン(第2次鳩山町健康増進計画・鳩山町食育推進計画中間評価)アンケート調査	令和元年6月～7月	③成人 20歳以上の町民男女	③成人 440	第1節回答者の属性 第2節健康状態について 第3節食生活について 第4節身体活動・運動について 第5節休養・こころの健康、地域とのつながりについて 第6節口・歯の健康について 第7節たばこについて 第8節お酒、薬物、エイズについて 第9節健(検)診について 第10節スマートフォンについて	PDFで保存できなかったため、Pワゴで保存。
83	○ ⇒備考参 照	○	中野市	中野市長の健康に関するアンケート調査	令和5年1月7日～1月22日	市内にお住まいの18歳以上の方から、2,000人を無作為抽出	879件	1 なた自身のことについて 2 栄養・食生活について 3 健康状況や健康づくり全般について 4 身体活動・運動について 5 アルコールについて 6 たばこについて 7 歯と口の健康について 8 休養・こころの健康について 9 健康管理について 10 地域への参加、地域の環境について	P51～ 問41 家庭以外のごで受動喫煙の機会がありますか。
84	○ ⇒備考参 照	○	玄海町	住民アンケート調査	令和4年8月1日～8月31日	④成人 玄海町に住民票を有する年度末年齢19歳以上	④成人 417件	1. 回答者の属性 2. 食生活について 3. 運動習慣について 4. 休養・こころの健康について 5. 喫煙習慣について 6. 飲酒習慣について 7. 歯や口の健康について 8. 健康づくりの取組について	P70～ (2) この1か月間に『望まずに自分以外の人が吸っていた、たばこの煙を吸う機会(受動喫煙)』がありましたか。
85	○ ⇒備考参 照	○	山梨県	山梨県県民健康づくり実践状況調査	令和5年1月20日～2月6日	県内に居住する20歳以上の者層化二段無作為抽出法(各圏域の母集団の大きさに応じて分配、住民基本台帳から抽出)	1,166人	健康づくり、食事、身体活動、運動、たばこ、アルコール、歯、睡眠、ストレス、等について	P62～ 問16: 最近1か月の間で、受動喫煙で嫌な(不快な)思いをしたか 問16-1: 受動喫煙で嫌な思いをしたのはどのような場所か 問17: 受動喫煙により、どのような影響があると思うか
86	○		那須塩原市	生活習慣アンケート調査	令和3年8月～9月	成人 市内在住の満20歳～70歳代の男女	成人 2872人	P11～ ①健康状態②肥満度③かかりつけ医④朝食の摂取状況⑤朝食・夕食の共食状況⑥適切な食事や定期的な運動⑦健康づくりに関する知識や情報	
87	○		士別市	士別市長の健康推進計画「健康しべつ2.1令和4年市民アンケート調査	令和4年7月8日から8月5日	令和4年6月1日時点で、年齢が20歳から69歳までの市民	2,171人	(1)性別(2)年齢(3)職業(4)体格(5)健康づくりの意識(6)歯科検診(7)歯痛の症状(8)歯の本数(9)飲酒(10)喫煙(11)健康(12)こころ(13)こころの相談(14)ゲートキーパー(15)地域の助け合い(16)健康診断(17)保健指導(18)保健指導の希望(19)がん検診(20)がん検診の機会(21)がん検診を受けたきっかけ(22)がん検診を受けていない理由	
88	○ ⇒備考参 照	○	蕨市	第2次「わらび健康アップ計画」策定に関するアンケート調査	平成29年7月14日から平成29年7月31日まで	蕨市住民基本台帳に登録されている15歳以上の市民の中から、地域・年齢により層化した上で1,500名を抽出	①15歳以上の方を対象とした調査 496票	1 ご自身について 2 健康観と現在の健康状況について 3 栄養・食生活について 4 運動・身体活動について 5 休養・こころの健康について 6 たばこについて 7 お酒(アルコール)について 8 歯や口の健康について 9 健康づくり全般について 10 健康診査や検診について	P95～ (4)受動喫煙の頻度 (5)分煙化を進めるべきか
89	○ ⇒備考参 照	○	株式会社博覧室	生活定点	1992年から偶数年5～6月に実施。(2020年のみ6～7月。最新調査は、2022年5月11日～6月20日)	20歳～69歳の男女 首都圏(東京都、埼玉県、神奈川県、茨城県) 阪神30km圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)	3,084人 (2022年)	・健康カテゴリー 健康のための努力は惜しまない 水や空気に不安がある 等 ・住カテゴリー あなたの住生活にあてはまるものを教えてください。 家の設備や機器の中で、充実させたいものは何ですか? 等	05住 No.481住まいのダニ、ホコリ、カビなどが大変になる
90	○ ⇒備考参 照	○	パナソニック	在宅勤務で気になった住環境の課題に関する調査	2020年4月27日～4月30日	新型コロナウイルスの影響で在宅勤務を週半分以上実施している全国の20代から60代までの社会人(男女)	1413名	日頃から気にしている住環境について 在宅勤務をして今後改善したい、より投資したいアイテムは 空気環境によって業務に支障があったかについて 業務に影響した空気環境は「カビ臭さ」が気になるかについて 「カビ臭さ」の対策をしているかについて カビ臭さの対策ができていない場合は 層別「カビ臭さ」対策をできていない理由は 在宅勤務を始めてからの電気代は高くなったかについて ご自宅で結露は発生しますか?結露は住宅に悪い影響があると思いますか?結露は健康被害につながると思いますか?結露対策を行っていますか?	【1.住環境について】 【2.カビ臭さについて】 ■在宅勤務でより気になった住環境は、「ほこり」「風通し」「汚れ」「気配の滞留(どまり)」。 約4割が「空気環境によって業務に集中できなかった」と回答。
91	○		ケルヒージャパン株式会社	「結露」に関するアンケート調査	2019年12月27日～2020年1月3日	20代以上男女	1000名		
92	○ ⇒備考参 照	○	株式会社タニタ	「熱中症に関する意識・実態調査2023」	2023年6月14日～15日	全国の15歳～69歳の男女	1000名	第1章 熱中症の危険性に対する意識と「暑さ指数(WBGT)」「熱中症警戒アラート」に対する認知 第2章 熱中症の症状と熱中症対策 第3章 今夏の活動量や予想マスク着用状況 第4章 夏の室内環境とエアコン使用	P25～ 第4章 夏の室内環境とエアコン使用
93	○ ⇒備考参 照	○	株式会社ドカ・ハウス	「睡眠」に関するアンケート調査	2019年12月18日～2019年12月23日	ドゥ・ハウスのインターネットリサーチサービス「myアンケートlight」を利用。20代～60代を対象	989人	睡眠の満足度、睡眠の工夫、睡眠のためにサプリメント、	睡眠の工夫は、「入浴」「寝具」「温度や湿度」がトップ3

表 4 メディア・企業・自治体等による健康と住まいに関するアンケート調査(続き 6)

No.	性別年代別 クオ・クオ クオ・クオ クオ・クオ	室内環境記 録の有無	調査元	タイトル	調査期間	調査対象	回答者数	内容	備考
94			株式会社リ クルート	住まいや暮らしに関する調査	2019年7月11日～7月16日	・現在の住まいが東京都、大阪府、愛知県、北海道、宮城県、広島県、福岡県、富山県、石川県、福井県、熊本県、鹿児島県 ・現在の住まいが持ち家マンションor一戸建て ・20～69歳男女	2400人 (各200人 /都道府 県)	冬の暮らしで最も困ること、寒さ対策	
95			ダイキン工 業株式会社	夏場のオフィスエアコンの設 定温度に関する実態調査	2018年6月13日～6月14日	全国のエアコンが設置されたオフィスで働く 20～60代の男女	500人	Q: あなたの職場・オフィスにおける夏場(6月～9月)のエアコンの設定温度は何℃ですか? Q: その設定温度はあなたにとって快適ですか? Q: 「不快」または「どちらか」と不快」を選択された理由をお選びください	
96	△ 感染対策 のみ	○ 備考参 照	株式会社F L I E	家庭内の感染対策	2020年11月22日～11月25日	10代～70代 ※家族・または同居人と複数人で住んでいる 方または以下の地域に在住している方 ・首都圏(東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県) ・近畿圏(福井県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県) ・中京圏(富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県) ・北海道	594名	Q1 「自宅(家庭)にて日常的に感染対策をしていますか?」 Q2 「どんな感染対策をしていますか? (Q1で「はい」と回答した方の方に質問)」 Q3 「自宅(家庭)での感染対策をしていない理由はなんですか? (Q1で「いいえ」と回答した方の方に質問)」	◆年代別 <Q1. 自宅(家庭)にて日常的に感染対策をしていますか?>
97		○ 備考参 照	株式会社 ファジー・ アド・オ フィス	コロナ禍での住まいづくりに 関する意識・実態調査	2020年8月31日-9月7日	16箇所の総合住宅展示場「ハウジングステー ジ」に来場して会員登録をした、住まいづく りの計画を持つ男女	327名	Q1. コロナ禍によって暮らしにどんな変化がありましたか? Q2. コロナ禍によって働き方にどんな変化がありましたか? Q3. コロナ禍で、家族との時間や在宅勤務について考えるうえで、今後の住まいや暮らしに 欲しくなったものは何ですか? Q4. コロナ禍で、健康や衛生面について考えるうえで、今後の住まいや暮らしに欲しく なったものは何ですか? Q5. コロナ禍で住まいづくりに影響はありましたか?	Q4. コロナ禍で、健康や衛生面について考える うえで、今後の住まいや暮らしに欲しくなっ たものは何ですか?

表 5 室内の除菌・消毒に対する意識(地域別)

地域分類	気にする	やや気にする	どちらともい えない	あまり気にし ない	気にしない	合計
北海道	63	173	84	134	40	494
	12.8%	35.0%	17.0%	27.1%	8.1%	100.0%
東北	61	172	115	135	48	531
	11.5%	32.4%	21.7%	25.4%	9.0%	100.0%
関東	659	1483	786	1018	373	4319
	15.3%	34.3%	18.2%	23.6%	8.6%	100.0%
北陸	30	131	61	86	35	343
	8.7%	38.2%	17.8%	25.1%	10.2%	100.0%
中部	134	349	229	317	116	1145
	11.7%	30.5%	20.0%	27.7%	10.1%	100.0%
近畿	237	678	387	485	189	1976
	12.0%	34.3%	19.6%	24.5%	9.6%	100.0%
中国	57	146	94	148	53	498
	11.4%	29.3%	18.9%	29.7%	10.6%	100.0%
四国	29	78	33	67	29	236
	12.3%	33.1%	14.0%	28.4%	12.3%	100.0%
九州	71	248	135	168	61	683
	10.4%	36.3%	19.8%	24.6%	8.9%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 6 室内の除菌・消毒に対する意識(性別)

性別	気にする	やや気にする	どちらともい えない	あまり気にし ない	気にしない	合計
男性	590	1707	1079	1555	679	5610
	10.5%	30.4%	19.2%	27.7%	12.1%	100.0%
女性	751	1751	845	1003	265	4615
	16.3%	37.9%	18.3%	21.7%	5.7%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 7 室内の除菌・消毒に対する意識(年代別)

年齢階層	気にする	やや気にする	どちらともい えない	あまり気にし ない	気にしない	合計
10代	3	9	3	3	2	20
	15.0%	45.0%	15.0%	15.0%	10.0%	100.0%
20代	47	70	41	53	42	253
	18.6%	27.7%	16.2%	20.9%	16.6%	100.0%
30代	148	315	166	208	108	945
	15.7%	33.3%	17.6%	22.0%	11.4%	100.0%
40代	306	800	455	535	227	2323
	13.2%	34.4%	19.6%	23.0%	9.8%	100.0%
50代	356	948	644	806	312	3066
	11.6%	30.9%	21.0%	26.3%	10.2%	100.0%
60代	285	854	427	614	168	2348
	12.1%	36.4%	18.2%	26.1%	7.2%	100.0%
70代	196	462	188	339	85	1270
	15.4%	36.4%	14.8%	26.7%	6.7%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 8 室内の除菌・消毒に対する意識(未既婚別)

結婚有無	気にする	やや気にする	どちらともい えない	あまり気にし ない	気にしない	合計
結婚していない (未婚・離別)	427	975	661	870	416	3349
	12.8%	29.1%	19.7%	26.0%	12.4%	100.0%
結婚している	914	2483	1263	1688	528	6876
	13.3%	36.1%	18.4%	24.5%	7.7%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 9 室内の除菌・消毒に対する意識(子どもの数別)

子供の数	気にする	やや気にする	どちらともい えない	あまり気にし ない	気にしない	合計
なし	791	2055	1171	1637	629	6283
	12.6%	32.7%	18.6%	26.1%	10.0%	100.0%
1人	321	765	376	461	177	2100
	15.3%	36.4%	17.9%	22.0%	8.4%	100.0%
2人	189	520	305	368	105	1487
	12.7%	35.0%	20.5%	24.7%	7.1%	100.0%
3人	36	107	69	81	27	320
	11.3%	33.4%	21.6%	25.3%	8.4%	100.0%
4人	2	11	3	11	5	32
	6.3%	34.4%	9.4%	34.4%	15.6%	100.0%
5人以上	2	0	0	0	1	3
	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 10 室内の除菌・消毒に対する意識(自宅種類別)

学歴	気にする	やや気にする	どちらともい えない	あまり気にし ない	気にしない	合計
大学院	60	148	109	154	74	545
	11.0%	27.2%	20.0%	28.3%	13.6%	100.0%
大学	605	1517	835	1175	422	4554
	13.3%	33.3%	18.3%	25.8%	9.3%	100.0%
短大・高专	216	471	227	263	66	1243
	17.4%	37.9%	18.3%	21.2%	5.3%	100.0%
専門学校	131	374	185	230	85	1005
	13.0%	37.2%	18.4%	22.9%	8.5%	100.0%
高校(旧制中学)	296	875	512	683	259	2625
	11.3%	33.3%	19.5%	26.0%	9.9%	100.0%
中学(旧制小学)	19	37	35	34	26	151
	12.6%	24.5%	23.2%	22.5%	17.2%	100.0%
その他	14	36	21	19	12	102
	13.7%	35.3%	20.6%	18.6%	11.8%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 11 室内の除菌・消毒に対する意識(学歴別)

	気にする	やや気にする	どちらともいえない	あまり気にしない	気にしない	合計
自宅種類 持ち家(一戸建)	694	1991	1076	1438	508	5707
	12.2%	34.9%	18.9%	25.2%	8.9%	100.0%
持ち家(集合住宅)	297	673	356	477	156	1959
	15.2%	34.4%	18.2%	24.3%	8.0%	100.0%
借家(一戸建)	22	89	53	55	28	247
	8.9%	36.0%	21.5%	22.3%	11.3%	100.0%
借家(集合住宅)	298	649	401	531	224	2103
	14.2%	30.9%	19.1%	25.2%	10.7%	100.0%
寮・社宅	13	35	25	35	17	125
	10.4%	28.0%	20.0%	28.0%	13.6%	100.0%
その他	17	21	13	22	11	84
	20.2%	25.0%	15.5%	26.2%	13.1%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 15 除菌・消毒に対する意識と行動

	気にする	除菌・消毒を直近1年間しているか		合計
		している	していない	
自宅室内の除菌・消毒を気にするか		1316	25	1341
		98.1%	1.9%	100.0%
	やや気にする	3338	120	3458
		96.5%	3.5%	100.0%
	どちらともいえない	1561	363	1924
		81.1%	18.9%	100.0%
	あまり気にしない	1793	765	2558
		70.1%	29.9%	100.0%
	気にしない	256	688	944
		27.1%	72.9%	100.0%
合計		8264	1961	10225
		80.8%	19.2%	100.0%

表 12 室内の除菌・消毒に対する意識(世帯収入別)

	気にする	やや気にする	どちらともいえない	あまり気にしない	気にしない	合計
世帯年収 不明	5	8	7	7	4	31
	16.1%	25.8%	22.6%	22.6%	12.9%	100.0%
300万円未満	230	631	419	562	251	2093
	11.0%	30.1%	20.0%	26.9%	12.0%	100.0%
300~500万円未満	328	949	492	717	224	2710
	12.1%	35.0%	18.2%	26.5%	8.3%	100.0%
500~700万円未満	280	762	402	491	185	2120
	13.2%	35.9%	19.0%	23.2%	8.7%	100.0%
700~1000万円未満	278	655	369	475	167	1944
	14.3%	33.7%	19.0%	24.4%	8.6%	100.0%
1000~1500万円未満	160	326	178	231	74	969
	16.5%	33.6%	18.4%	23.8%	7.6%	100.0%
1500万円以上	60	127	57	75	39	358
	16.8%	35.5%	15.9%	20.9%	10.9%	100.0%
合計	1341	3458	1924	2558	944	10225
	13.1%	33.8%	18.8%	25.0%	9.2%	100.0%

表 13 除菌・消毒をしている場所(複数回答)(性別)

性別	室内空間	トイレ	洗面所	風呂	手を触れるドアノブなど	直近1年間していない	合計
	18.5%	51.5%	26.8%	25.2%	14.4%	25.0%	100.0%
女性	1005	2883	1423	1400	1309	557	4615
	21.8%	62.5%	30.8%	30.3%	28.4%	12.1%	100.0%
合計	2043	5770	2926	2814	2119	1961	10225
	20.0%	56.4%	28.6%	27.5%	20.7%	19.2%	100.0%

表 14 除菌・消毒をしている場所(複数回答)(年代別)

	室内空間	トイレ	洗面所	風呂	手を触れるドアノブなど	直近1年間していない	合計
年齢階層 10代	4	8	5	1	8	3	20
	20.0%	40.0%	25.0%	5.0%	40.0%	15.0%	100.0%
20代	64	99	52	47	50	69	253
	25.3%	39.1%	20.6%	18.6%	19.8%	27.3%	100.0%
30代	242	503	243	228	203	184	945
	25.6%	53.2%	25.7%	24.1%	21.5%	19.5%	100.0%
40代	488	1239	559	603	494	452	2323
	21.0%	53.3%	24.1%	26.0%	21.3%	19.5%	100.0%
50代	579	1661	807	801	606	655	3066
	18.9%	54.2%	26.3%	26.1%	19.8%	21.4%	100.0%
60代	450	1428	741	705	513	395	2348
	19.2%	60.8%	31.6%	30.0%	21.8%	16.8%	100.0%
70代	216	832	519	429	245	203	1270
	17.0%	65.5%	40.9%	33.8%	19.3%	16.0%	100.0%
合計	2043	5770	2926	2814	2119	1961	10225
	20.0%	56.4%	28.6%	27.5%	20.7%	19.2%	100.0%